



ARTIST

25/37/49/61/88 鍵 ベロシティ対応 ピアノ風キー USB MIDI コントローラーキーボード

Artist は、スタジオとステージの両方で使用するために開発された、洗練されたプロフェッショナルグレードの USB MIDI キーボードです。ベロシティ対応キー、レスポンス性なキーベッド、LED フィードバック付きデュアルファンクションエンコーダーを搭載し、表現力豊かなコントロールと直感的な演奏性を実現します。耐久性があり、多機能かつ即座に環境に適應できる Artist は、あなたのコンパクトなクリエイティブパワーハウスです。



25key



37key



49key



61key



88key

重要な注意点: Artist シリーズは MIDI コントローラーキーボードであり、「ホームキーボード」ではありません。内蔵サウンドやスピーカーは搭載されていません。



目次

はじめに.....	6
Artist シリーズは誰のための製品ですか？.....	6
パッケージの中身は何ですか？.....	6
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください.....	7
概要.....	8
特長.....	10
トップパネル.....	11
リアパネルレイアウト.....	13
Artist コントローラーの接続方法.....	15
iMAP をダウンロードする.....	16
Mac 用 iMAP™ ソフトウェアのインストール.....	17
Windows 用 iMAP™ ソフトウェアのインストール.....	19
MIDI 機能の割り当て.....	23
iMAP™ Artist ソフトウェアパネル.....	23
割り当て：デフォルトモード.....	25
割り当て：ミュージカルキーボード設定モード.....	27
全般設定.....	29
その他のコントロール（ホイール、ペダル、ロータリーエンコーダー）.....	31
ベロシティカーブ表示.....	34
ベロシティカーブの説明.....	38
ベロシティカーブクイックリファレンスチャート.....	41
カスタムベロシティカーブの作成方法.....	42
MIDI に関するさらなる情報.....	43
CC 値の再割り当て.....	44
CC 値の割り当て - 便利な CC 値紹介.....	45
CC 値の割り当て - 実例.....	46
その他の用途 - シンセサイザー制御と MIDI ラーン.....	48
ファームウェアアップグレード.....	50
工場出荷時設定にリセット.....	52
概要 - リバースサスティンペダル接続端子の極性.....	52
仕様.....	53
トラブルシューティング.....	54
サービス.....	55

安全上の注意

ご使用前に、これらの使用上および安全上の注意事項をよく読み、製品を正しく取り扱ってください。本書類では、誤った使用によるユーザーまたは第三者への危害や損傷を防ぐため、重要な注意事項をシンボルで強調しています。以下にシンボルとその意味を記載します。

⚠ 警告

重傷または死亡につながる可能性のある行為を示します

⚠ 注意

けがまたは機器の損傷につながる可能性のある行為を示します

その他使用される記号

⊘ 禁止される行為を示します

❶ 必須の行為を示します

⚠ 警告





■ 電源 (適用可能な電源に関する詳細情報については、取扱説明書を参照してください)

❶ 必ず指定された電源アダプター (製品専用) を使用してください

⊘ コンセントおよびその他の電気配線機器の定格を決して超えないでください

❶ 異なる電気電圧の外国または地域で本機器を使用する前に、必ず iCON Pro Audio 製品を取り扱う現地の iCON 販売店 / 小売店、または iCON Pro Audio サポートにお問い合わせください。iCON Pro Audio が指定する承認済みの適切なアダプターを必ず使用してください。

❶ ご使用前に、電源に関する警告表示をよく読み込んでください

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR		
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT REMOVE COVER (OR BACK) NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL			
ATTENTION: POUR EVITER LES RISQUES DE CHOC ELECTRIQUE: NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE. AUCUN ENTRETIEN DE PIECES INTERIEURES PAR L'USAGER. CONFIER L'ENTRETIEN AU PERSONNEL QUALIFIE. AVIS: POUR EVITER LES RISQUES D'INCENDIE OU D'ELECTROCUTION, N'EXPOSEZ PAS CET ARTICLE A LA PLUIE OU A L'HUMIDITE			

The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated, dangerous voltage within the product's enclosure, that may be of sufficient magnitude to electric shock to persons. Le symbole clair avec point de flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est utilisé pour alerter l'utilisateur de la présence à l'intérieur du coffret de voltage dangereux non isolé d'ampleur suffisante.

exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user of the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance. Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est employé pour alerter les utilisateurs de la présence d'instructions importantes pour le fonctionnement et l'entretien (service) dans le livret d'instruction accompagnant l'appareil.

警告: 火災または感電のリスクを低減するため、本機器を雨や湿気にさらさないでください

■ 修理および改造

- ❗ ケースを開けたり、機器の修理を自分で行ったりしないでください。修理または必要な改造は、必ず iCON Pro Audio のテクニカルサポートまたは認定された iCON Pro Audio サービスセンターに依頼してください。

△ 注意

■ 製品の取り扱い方法

- ❗ 製品を取り扱う際は注意し、落下、衝撃、または機器への過度な力の加え方を防いでください
- ❗ 液体や異物が機器の内部に入ることを避けてください

■ 動作環境

- 極端に高い温度または低い温度での使用は避けてください
- ヒーター、ストーブその他の熱源の近くでは使用しないでください
- 湿度の高い場所や水がかかりやすい場所は避けてください
- 振動が激しい場所、ほこりまたは砂の多い場所は避けてください

■ ケーブルとデバイスの接続

- ❗ ケーブルや外部機器を接続する前に、すべての機器の電源がオフになっていることを確認してください
- ❗ 機器を移動する前に、すべてのケーブルとアクセサリを取り外し、損傷を避けてください

■ 音量

- ❗ 聴力を保護するため、高音質での長時間使用は避けてください

運用時の注意事項

■ 干渉

本製品は電磁放射を抑制し、外部からの干渉に耐えられるよう設計されています。ただし、干渉に非常に敏感な機器や強い電磁波を放射する機器の近くに設置すると、障害が発生する場合があります。干渉が発生した場合は、本製品と他の機器との距離を離してください。機器の向きを変えたり、周波数 / チャンネルを変更したりしてください (該当する場合)。

電磁干渉はあらゆる電子機器に影響を与え、誤動作、データ破損、その他の問題を引き起こす可能性があります。他の電子機器の近くで本製品を使用する場合は、注意してください。

■ クリーニング

外装のクリーニングには、柔らかい乾いた布巾を使用してください。必要に応じて、適切な布巾をこくわずかに湿らせてもかまいません。

ゴム製またはシリコン製の部品については、湿らせた綿埃の出ない布巾で優しく拭いてください。

研磨剤入り洗剤、ワックス、またはアルコール・ベンゼン・塗料用シンナーなどの溶剤の使用は避けてください。

■ 故障

機器に不具合が発生した場合や損傷している場合は、直ちに電源を切り、電源供給を切断し、電池を取り外し、すべてのケーブルおよび接続機器を抜いてください。iCON Pro Audio のテクニカルサポートにお問い合わせください。

また、以下の点もご留意ください ...

1. 換気口をふさいだり、本機の適切な換気を妨げたりしないでください。製造元の説明書に従って設置してください。
2. 電源コードが踏まれたり、上に物を置かれたりするなどして損傷することのないように保護してください。プラグ、コンセント、および電源コードが本体から出ている部分には特に注意してください。
3. 感電の危険を避けるため、本機の動作中は露出した配線に触れないでください。
4. iCON が指定する付属品 / アクセサリーのみを使用してください。

はじめに

まずは、25/37/49/61/88 鍵盤のベロシティ対応ピアノ式キー搭載の iCON Pro Audio Artist USB MIDI コントローラーキーボードをご購入いただき、誠にありがとうございます。このページでは、Artist シリーズの機能詳細と仕様の完全な一覧をご紹介します。

以下のリンクから当社ウェブサイトにて製品登録をお願いいたします：www.iconproaudio.com/registration

ほとんどの電子機器と同様、本製品のオリジナルパッケージを保管することを強くお勧めします。万が一製品を修理のため返品する場合、オリジナルパッケージ（または同等の適切なパッケージ）が必要となります。適切なお手入れと十分な換気を行えば、Artist シリーズ製品は長年にわたりトラブルなく動作します。

本製品が長きにわたり優れた性能を発揮してくれることを信じておりますが、万が一最高水準の性能を発揮できない場合には、問題解決のため最大限の努力をいたします。

Artist シリーズは誰のための製品ですか？

Artist シリーズは、ソフトウェア楽器、スタンドアロン・バーチャルシンセサイザー、または外部 MIDI ハードウェア向けに、信頼性が高く表現力豊かな MIDI キーボードを必要とするミュージシャン、プロデューサー、作曲家、教育関係者を対象に設計されています。DAW との高度な連携に伴う複雑さを避けつつ、ベロシティ、モジュレーション、アサインابلノブといった音楽表現をタッチ操作でコントロールしたいユーザーに最適です。Artist シリーズには専用の DAW トランスポートコントロールが搭載されておらず、Mackie Control や HUI コントローラーとして使用することはできません。マウス、キーボード、その他の専用コントロールサーフェスで DAW を操作し、キーとパフォーマンスコントロールを介した音楽入力に専念したいユーザーに最も適しています。

パッケージの中身は何ですか？

- Artist MIDI コントローラーキーボード
- USB-C to USB-C ケーブル



Also included: Free technical support

お客様のアカウントで *ICON Pro Audio* 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

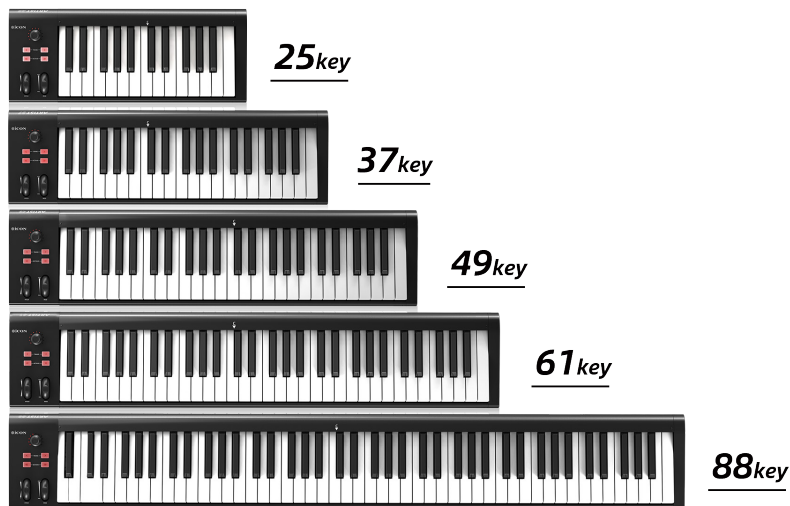
既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

概要



iCON Pro Audio の Artist シリーズ MIDI キーボードは、スタジオ、ステージ、教育現場のいずれの環境にも対応し、表現力豊かな演奏とスムーズなコントロールを実現するプロフェッショナルグレードのコントローラーです。25 鍵、37 鍵、49 鍵、61 鍵、88 鍵の 5 つの構成から選択可能で、モバイル環境からフルサイズのライブセットまで、あらゆるワークスペースに対応します。ベロシティ対応の鍵盤は自然でダイナミックなタッチ感を実現し、ピアノのような表現力と、電子音楽制作に適した高速かつレスポンスな鍵の動きを両立させています。iCON 公式ソフトウェア iMAP を使用するとベロシティカーブを調整可能で、演奏者は自身の独特なスタイルやテクニックに合わせてキーボードの応答性を微調整できます。

Artist シリーズのシンプルかつ使い勝手の良いレイアウトは、操作部をまさに必要な場所に配置しています。キーボード左側には、人間工学に基づいた操作エリアが設けられ、バックライト付き LED リングで囲まれたデュアルファンクションエンコーダーノブが搭載されており、パラメーターの精密な調整と視覚的なフィードバックを実現します。オクターブシフトボタンとトランスポーズボタンにより、別の音域を迅速に呼び出せるほか、滑らかなピッチホイールとモジュレーションホイールでリアルタイムに表現力豊かなアーティキュレーションが可能です。すべての操作部は片手で直感的に操作できる位置に配置されており、スピーディーな制作やライブインプロビゼーションに最適です。

Artist シリーズは金属製アルミシャーシを採用しており、頻繁な移動、スタジオでの日常的な使用、そして移動型のパフォーマンスといった過酷な条件にも耐えられるよう設計されています。ケンジントンロックポートを搭載しているため、公共施設や教育機関などでの使用時に安全性を高めることができます。

コネクティビティは先進的かつ堅牢です。ハイスピード USB-C ポートにより、高速なデータ転送、安定したバスパワー供給を実現するとともに、macOS および Windows システムと完全にクラスコンプライアンスな動作をサポートします。背面パネルには、さらにプロフェッショナルレベルの各種接続ポートを備えています。外部機器を制御するためのトラディショナルな 5 ピン MIDI Out ポート、タッチコン

トロールの拡張を実現する 6.35mm (1/4 インチ) サスティンおよびエクスプレッションペダル入力、過酷な環境下での安定性を高める 5V/2A DC 電源入力、そして素早い操作を可能にする専用電源スイッチです。

Artist シリーズの核心には高度な ARM プロセッサを搭載しており、プラグインを大量に使用する複雑なセッション中でも、超低レイテンシー、完璧な MIDI 通信、堅牢なパフォーマンスを実現します。複数の楽器をレイヤリングする場合でも、緻密なミックスをオートメーションする場合でも、高速シーケンスを録音する場合でも、ARM アーキテクチャがすべてをレスポンスかつシンクロさせ、ラグを解消して、あなたの意図した通りにすべての音符を鳴らします。

ハードウェアの性能を最大限に引き出すため、Artist シリーズには充実したプロダクションソフトウェアバンドルが同梱されており、購入したその日からクリエイティビティを刺激します。このソフトウェアセットの中核をなすのが、Native Instruments Hybrid Keys: Creative Key Mutations です。これは、高品質なピアノ、ハーブシコード、オルガンのサンプルと、現代的なシンセサイザーやエフェクトを融合させた、先進的なハイブリッドキーボード楽器コレクションです。豊富なプリセットと使いやすいインターフェースにより、DAW 内でヴィンテージな音色から未来的なサウンドスケープまで、簡単に創り上げることができます。

ソフトウェアバンドルには以下も同梱されています：

Bitwig 8-Track：高速かつモジュラーなワークフローを備えた、録音、シーケンシング、楽曲アレンジ用の最先端 DAW。

Harrison Audio Plugins：洗練されたイコライザーとダイナミクスを実現する AVA-Live Channel Strip、およびボーカルの詳細な強調処理が可能な Vocal Intensity Processor を搭載。

Tracktion DAW Essentials：イコライザー、リバーブ、コンプレッションなどに対応した 10 種類の多機能プラグインスイート。

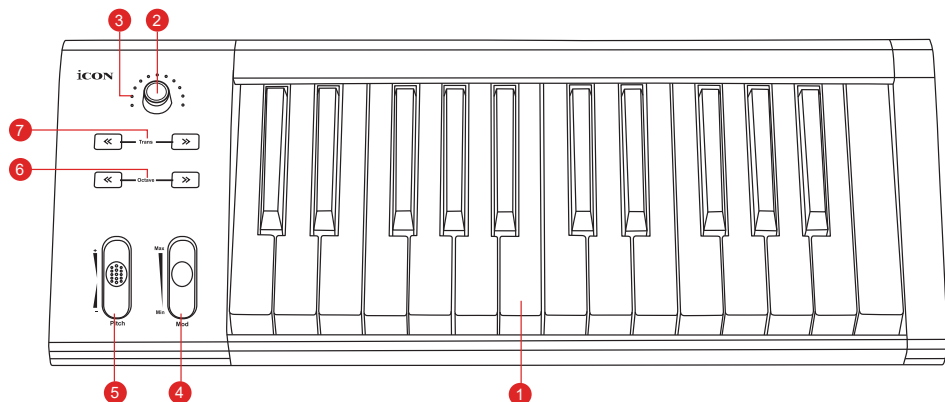
KiloHearts Essentials & Snap Heap：30 種類以上のモジュラーエフェクトと、ドラッグアンドドロップ操作でカスタムエフェクトチェインやサウンドデザインツールを構築できる環境。

Dotec Audio Plugins：DeeComp と DeeEQ を含み、クリーンでトランスペアレントなマスタリングとダイナミックシェイピングツールを提供。

特長

- 25/37/49/61/88 鍵盤 ベロシティ対応ピアノ式キー
- オクターブアップ／ダウンボタン
- トランスポーズアップ／ダウンボタン
- デュアルファンクションエンコーダーノブ
- エンコーダー周囲に 11 セグメント LED 搭載（ボリューム／パンの回転位置を表示）
- モジュレーションホイールとピッチホイール
- カスタマイズ可能なベロシティカーブ
- MIDI Out コネクター
- エクスプレッションペダル／サスティンペダル入力端子
- サスティンペダルコネクターの極性反転機能
- エルゴノミックなスリムデザインと左側配置のコントロールクラスター
- ハイスピード USB-C & ARM チップによる安定動作
- iMAP ソフトウェアまたは MIDI Learn モードでの物理コントロールの MIDI マッピング機能
- 簡単なファームウェアアップグレード
- 耐久性に優れた金属シャーシとケンジントンロック
- クラスコンプライアントなプラグアンドプレイ対応（Windows 7-11 および macOS - ドライバ不要）
- フューチャーレディなファームウェアアップグレード（USB と iMAP ソフトウェアを介して機能と互換性を簡単に更新）

トップパネル



1. 25/37/49/61/88 鍵 キースイッチ

25/37/49/61/88 鍵 ベロシティ対応ピアノアクションキースイッチ

2. デュアルファンクションエンコーダー

デュアルファンクションエンコーダーは、プッシュボタンとロータリーコントロールの両方の機能を備えています。エンコーダーを押すと動作モードの切り替えに使用でき、回すと割り当てられた機能に応じて、チャンネルのパン、センドレベル、またはプラグインパラメーターの調整が可能です。デフォルト設定はボリュームとパンで、パン機能はボタンを押してアクセスします。デフォルト設定は使用する DAW に依存します。各パラメーターは iMAP ソフトウェアからアクセスして変更できます。

3. エンコーダー LED

エンコーダー周囲の 11 個の LED が点灯し、コンピュータ画面を確認しなくてもエンコーダーの相対的な回転位置を把握できます。

4. モジュレーションホイール

回転させてモジュレーション効果を調整します。「Mod」または「Modulation」ホイールとも呼ばれます。

5. ピッチホイール

回転させてピッチバンドを調整します。手を離すとデフォルトの「0」位置に復帰します。

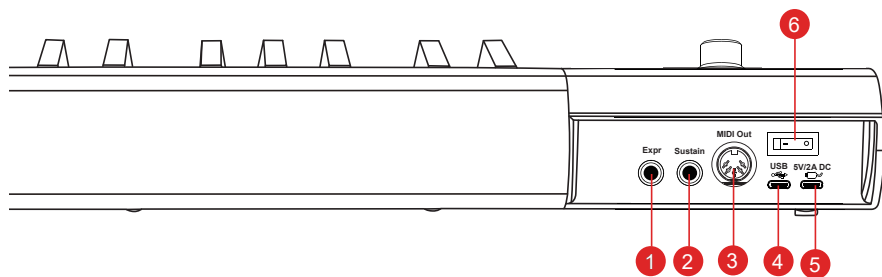
6. オクターブボタン (アップ/ダウン)

これらのボタンを使用すると、キーボード全体の音域を 1 オクターブ単位で上下にシフトでき、物理的な鍵盤の範囲外の音にアクセスできます。ベースライン、高音リード、またはデフォルト音域外の楽器を演奏するのに最適です。アップまたはダウンボタンを押すたびに、すべての鍵盤の MIDI ノート出力が ± 12 半音トランスポートされます。例えば、キーボードが C3 に設定されている状態でオクターブアップを押すと、出力は C4 に切り替わります。オクターブシフトは変更またはリセットするまで有効で、接続された DAW や MIDI 対応機器に反映されます。これらの設定は iMAP ソフトウェアからも変更可能です。

7. トランスポーズボタン（アップ／ダウン）

鍵盤で演奏する音高を（1 オクターブ未満の範囲で）上げたり下げたりすることができます。この機能を使えば、指法を変えることなく演奏する調を切り替えられるため、ボーカルの音域に合わせたり、移調された楽器との演奏に最適です。例えば、C 調で演奏している状態で Trans 「>」 ボタンを 4 回押すと、鍵盤の出力音高が +4 半音上がります。この時、C 鍵を押すと Mi の音が出力されます。この設定変更はすべての MIDI ノート出力に影響し、リセットまたは再変更するまで有効で、変更結果は DAW や MIDI 設定画面で確認できます。また、iMAP ソフトウェアからもこれらの設定変更が可能です。

リアパネルレイアウト

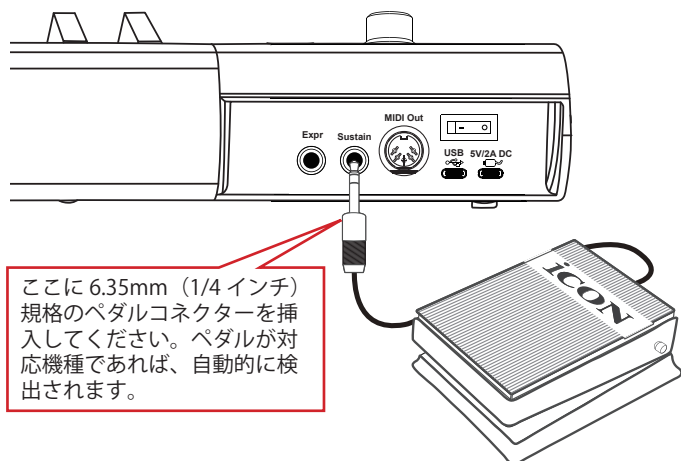


1. エクスプレッションペダル入力

標準的なエクスプレッションペダルを、この6.35mm（1/4インチ）入力端子を介して接続できます。

2. サスティンペダル入力

この6.35mm（1/4インチ）ジャックには、モーメンタリーフットスイッチを接続可能で、接続後はピアノのサスティンペダルと同様に動作します。推奨ペダルは iCON SPD-01 です。



ヒント：同梱の iMAP ソフトウェアを使用して、サスティンペダルコネクターの極性を反転させることができます。

3. MIDI Out ポート

この MIDI Out ポートを使用して、外部シンセサイザーまたはサウンドモジュールを接続してください。

4. USB コネクタ (Type-C)

同梱の USB ケーブル (Type-C) を使用して、このポートを Mac または PC に接続してください。

5. 電源コネクタ

オプションの電源アダプター用コネクタです。Artist シリーズは USB 給電に対応していますが、ご使用の PC/Mac からの給電が不足する場合や、コンピューターと接続せずに独立して使用する場合には、ここに 5V/2A の DC 電源アダプターを接続してください。

6. 電源スイッチ

Artist 本体の電源スイッチです。

Artist コントローラーの接続方法

1. USB ポートを介して Artist コントローラーを Mac/PC に接続する

Mac/PC の USB ポートを選択し、USB-C ケーブルのコネクターを挿入します。次に USB-C ケーブルを Artist コントローラーに接続します。Mac/PC は新しいハードウェアを自動的に検出し、使用可能であることを通知します。

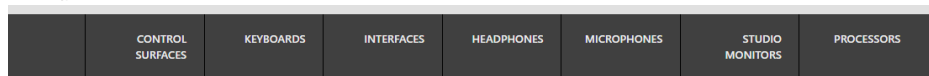
2. DAW で Artist コントローラーが認識されているか確認する

DAW または音楽制作ソフトを開き、iCON Artist コントローラーが使用可能な MIDI 入力デバイスとして選択されていることを確認します。Artist コントローラーはプラグアンドプレイ対応の MIDI コントローラーであり、特別なドライバーやコントロールサーフェスの設定は不要です。

これですぐにバーチャル楽器を演奏することができます。

iMAP をダウンロードする

ユーザーセンター（ウェブサイト：www.iconproaudio.com）から iMAP ファイルをダウンロードしてください。同じウェブサイトの製品ページからもダウンロード可能です



Artist 25

Serial Number: X6R1J3E

Unregister
this device

iMap for MacOS

Download the latest

iMap for Windows

Download The Latest

Quick Start Guide

Download

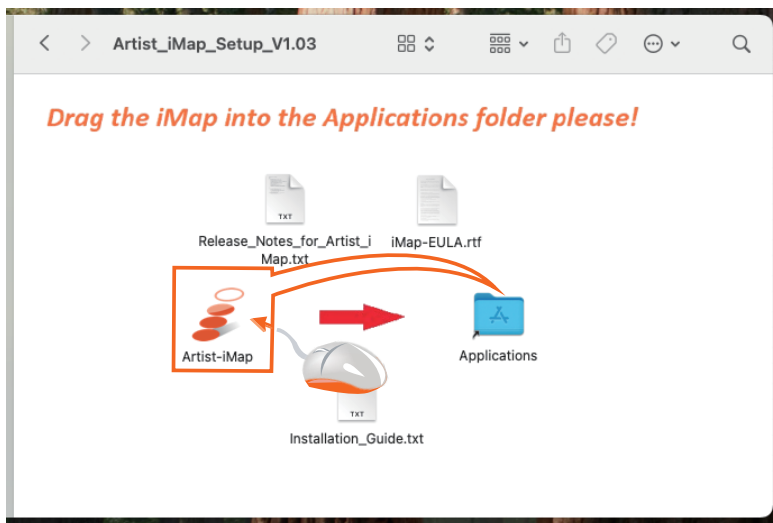
Mac 用 iMAP™ ソフトウェアのインストール

iMAP™ ソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

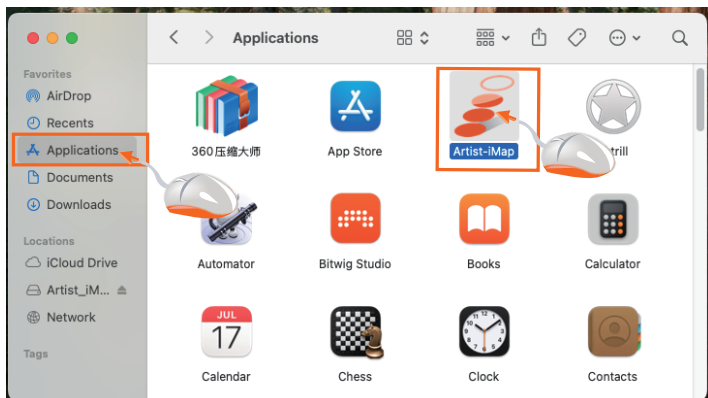
1. Mac を起動します。
2. ユーザーセンター（ウェブサイト：www.iconproaudio.com）から Mac 用インストールファイルをダウンロードします。このファイルは Artist シリーズの製品ページからも入手可能です。
3. ファイルをダウンロードして解凍した後、.dmg ファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。



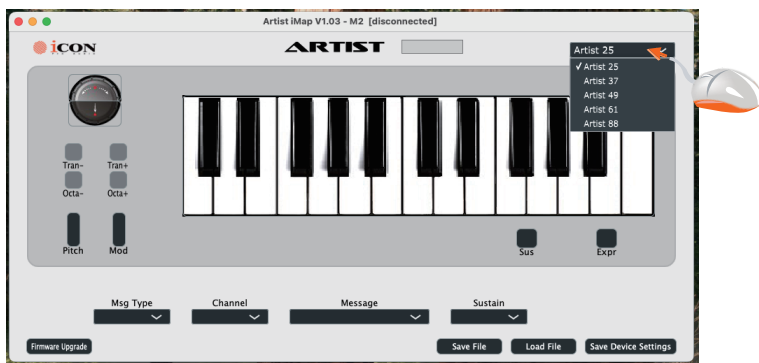
4. インストール完了後 – Artist iMAP のアイコンをアプリケーションフォルダーにドラッグしてください



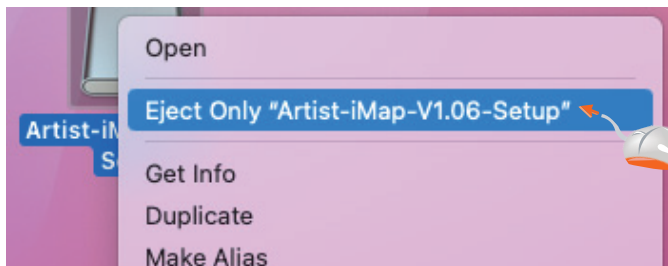
5. Artist iMAP のアイコンがアプリケーションフォルダーに表示されているか確認してください。アイコンをクリックしてアプリを起動します。



6. Artist iMAP を開きます。ドロップダウンメニューから適切な Artist のバージョンを選択してください。



7. インストール完了後、デスクトップ上のインストーラーディスクアイコンを右クリックし、「イジェクト」を選択してディスクを閉じてください。

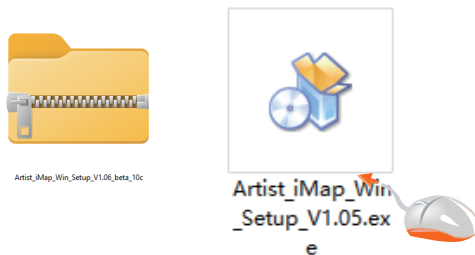


Windows 用 iMAP™ ソフトウェアのインストール

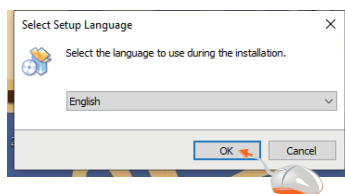
iMAP™ ソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. Windows PC を起動します。
2. ユーザーページ（ウェブサイト：www.iconproaudio.com）から Windows 用インストールファイルをダウンロードします。このファイルは Artist シリーズの製品ページからも入手可能です。

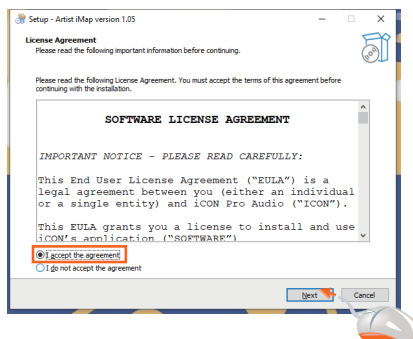
3. ファイルをダウンロードして解凍した後、インストールプロセスを開始します。



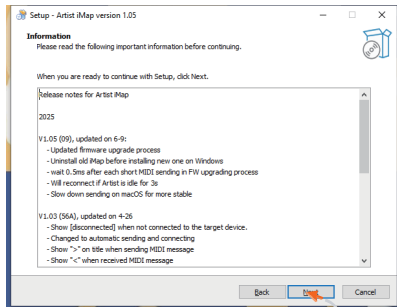
4. 言語を選択してください



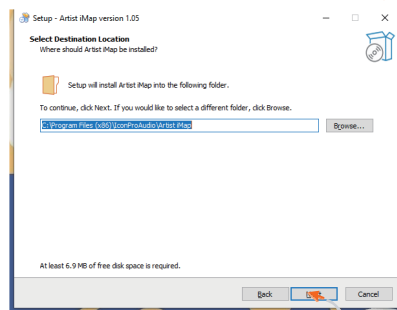
5. ソフトウェアライセンス契約書をお読みください。契約に同意される場合は「次へ」をクリックしてください。



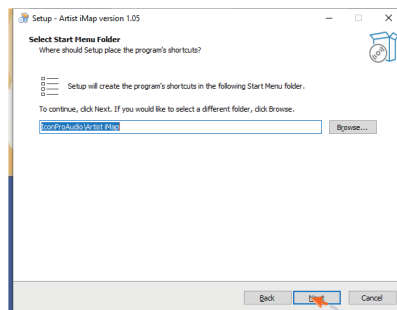
6. リリースノートをお読みください。読了後「次へ」をクリックしてください。



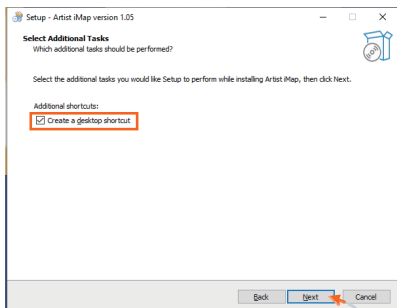
7. iMAP™ のインストール場所をお好みの場所を選択するか、デフォルトの場所を使用して、「次へ」をクリックしてください。



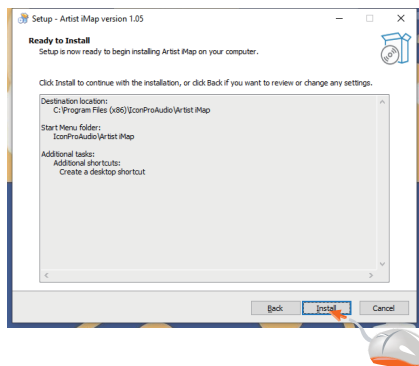
8. プログラムのショートカット用にスタートメニューフォルダを選択するか、デフォルトのフォルダを使用してください。「次へ」をクリックして続行してください。



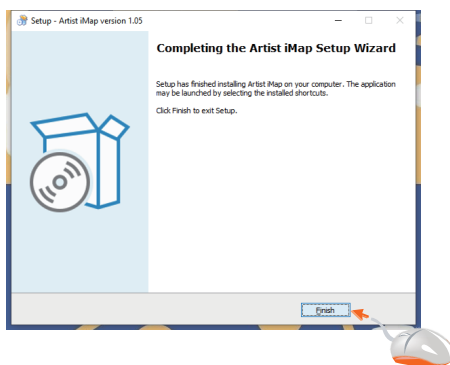
9. デスクトップに iMAP™ のショートカットを作成してください。作成しない場合はチェックボックスのチェックを外してください。「次へ」をクリックしてください。



10. 「インストール」をクリックして iMAP™ のインストールを開始してください。iMAP™ のインストールが開始されます。完了するまでお待ちください – プロセスを中断しないでください。



11. インストールが完了したら、「完了」をクリックしてください。





Artist 機器と iMAP を併用する日常使用時の注意点：

ほとんどの場合、iMAP を起動する順番とキーボードを電源 ON にする順番は関係ありません。ただし、一部の PC では、iMAP を先に開いてからキーボードの電源を入れると、iMAP 上で「切断済み」と表示される現象が発生することがあります。この問題は、キーボードを電源 ON にしてコンピューターに接続した状態で、iMAP を再起動することで解決できます。



MIDI 機能の割り当て

iMAP™ を使用すると、Artist 機器の MIDI 機能を簡単に割り当てることができます。

注記： Artist 機器が Mac/PC に接続されていない場合、iMAP のグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）左上隅に「切断済み」というメッセージが表示されます。付属の USB ケーブルを使用して、Artist 機器を Mac/PC に接続してください。



iMAP™ Artist ソフトウェアパネル

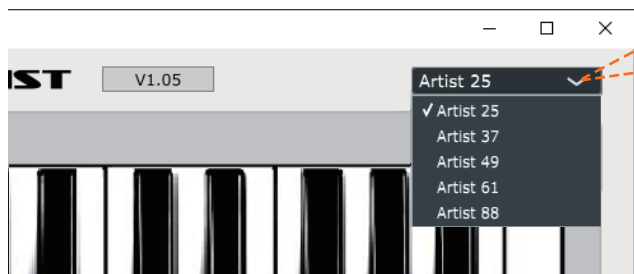
iMAP ソフトウェアは、大きく 2 つの主要なセクションに分かれていると理解すると便利です。

機能割り当てセクション – このセクションには、2 つの主要なモードが含まれます。

- **デフォルトモード：** iMAP 起動時に自動的に読み込まれる標準設定で、物理コントローラーを任意の CC 値に再割り当てする機能が含まれます。

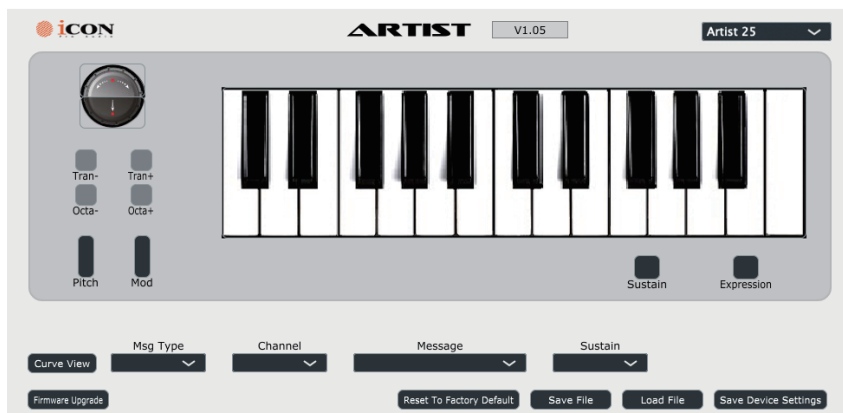
- **ミュージカルキーボード設定モード：** このモードでは、ミュージカルキーボードの応答を調整できます。例えば、ベロシティカーブの変更やアクティブオクターブの選択などが可能です。このモードにアクセスするには、iMAP 内のミュージカルキーボード領域をクリックします。領域が紫色にハイライト表示され、下部にあるドロップダウンメニュー群が、ミュージカルキーボード専用のオプションに切り替わるのが確認できます。

全般設定セクション – ソフトウェアの「管理用」領域と考えることができます。ここではファイルの読み込み・保存、選択した設定の物理キーボードへの送信、ファームウェア更新モードへの移行を行うことができます。

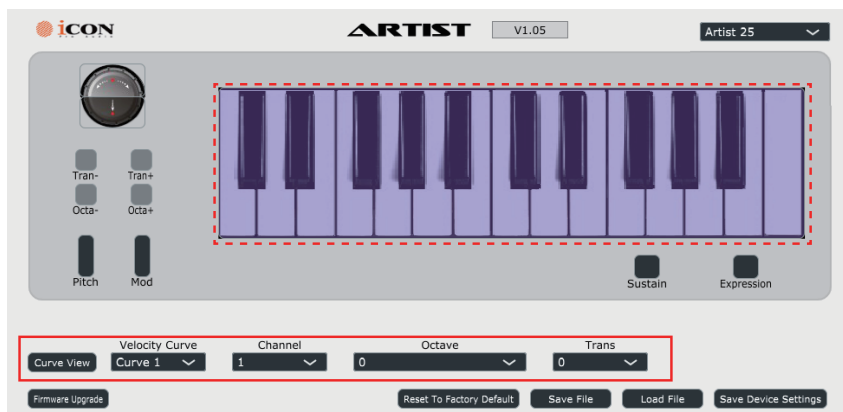


使用前に、必ずデバイスのドロップダウンメニューで正しいデバイスが選択されていることを確認してください。

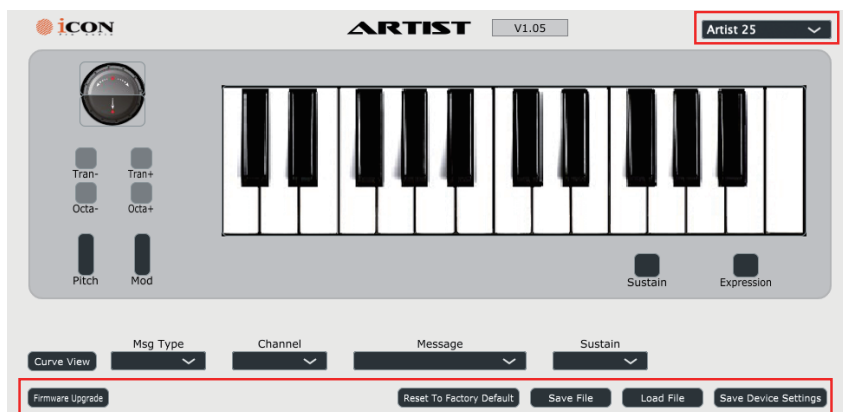
割り当て: デフォルトモード



割り当て: ミュージカルキーボード設定モード



全般設定

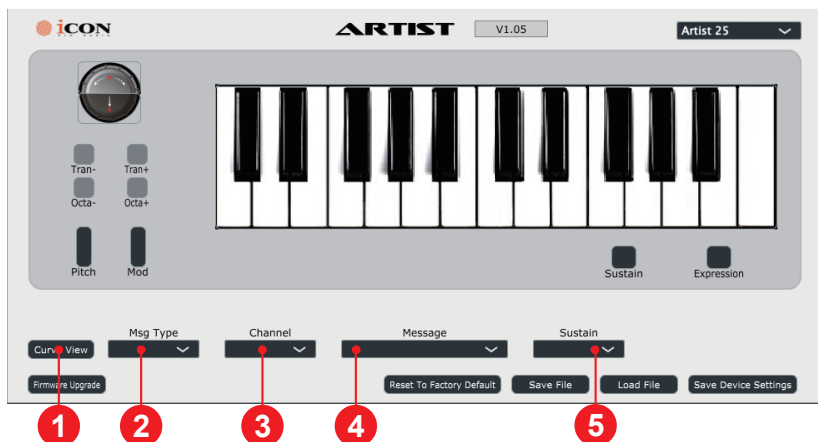


割り当て：デフォルトモード

割り当て可能な要素には、キースイッチ、ベロシティカーブ、モジュレーション／ピッチベンドジョグホイール、サスティン&エクスプレッションペダル、トランスポーズ&オクターブボタンが含まれます（選択するにはクリックしてください－選択されたコントロールは紫色でハイライト表示されます）。一部の要素はユーザーが割り当てることができません（グレー表示）。割り当て可能な要素は、以下に示すドロップダウンメニューを使用して設定できます。

ドロップダウンメニュー群（1～5）

この5つのドロップダウンメニュー群は、現在のモードに応じて表示内容が変化します。図には「キーボード割り当て」モードまたは「デフォルト」モードが示されています。



1. カーブ表示

現在使用中のベロシティカーブを表示するウィンドウを開きます。

2. メッセージ種別

キーボードの特定の要素が通信している MIDI メッセージの種別を表示します。これは通常、CC（コントロールチェンジ）です。ただし、ピッチベンドホイールをクリックすると「ピッチベンド」と表示されます。Artist 機器では「ノート」および「プログラム」オプションは使用できない点にご注意ください。Artist 機器ではこのドロップダウンメニューはロックされており、表示専用として機能します（ベロシティカーブ表示時を除く）。

3. チャンネル

1～16の範囲で MIDI チャンネルを割り当てます。選択した MIDI チャンネルは、モジュレーションホイールなどの選択中の機能に適用されます。

4. メッセージ

Artist 機器の割り当て可能なパラメーターは、0～127の範囲の標準 MIDI 「コントロールチェンジ」（CC）値を使用します。これらの値はドロップダウンメニューに表示されます。一部の CC 値は音楽的な実用性がないか、特定のコントロール種別には不適切な場合があります。例えば、ボリュームコントロール（連続的な範囲を必要とする）をボタン（オン/オフの2状態のみ）に割り当てると、ボリュームが最大レベルと最小レベルの間でしか切り替わらなくなる可能性があります。

5. サスティン

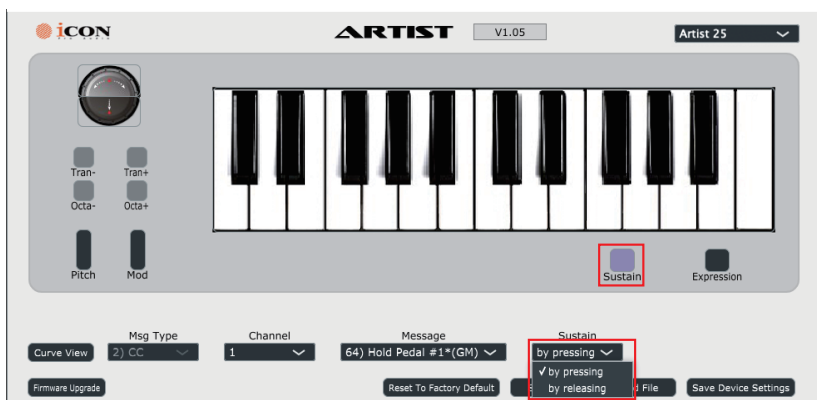
iCON SPD-01 * のようなモメンタリーペダルを、Artist キーボードの「サスティン」ポートに接続した場合、ピアノに備わるサスティンペダルとして使用することができます。

サスティンペダルの使用方法には、2つのモードがあります。

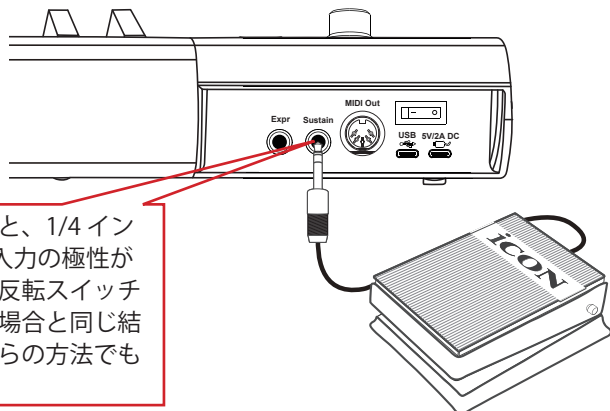
「踏み込み時」 - ペダルを踏み込むとサスティンがアクティブになる

「離し時」 - ペダルを離すとサスティンがアクティブになる（極性反転）

サスティンボタンがアクティブな状態（紫色でハイライト表示）のとき、これら2つのモードを切り替えることができます。



「踏み込み時」はデフォルトモードであり、ピアノのサスティンペダルが標準的に動作する方式です。この動作を反転させたい場合は「離し時」を選択してください。この設定は「極性反転」とも呼ばれます。一部のペダルには機器の底面に「ポーラリティスイッチ」が搭載されている点に留意してください。この機能がある場合、ハードウェアから直接設定を速やかに変更する方が便利な場合があります。

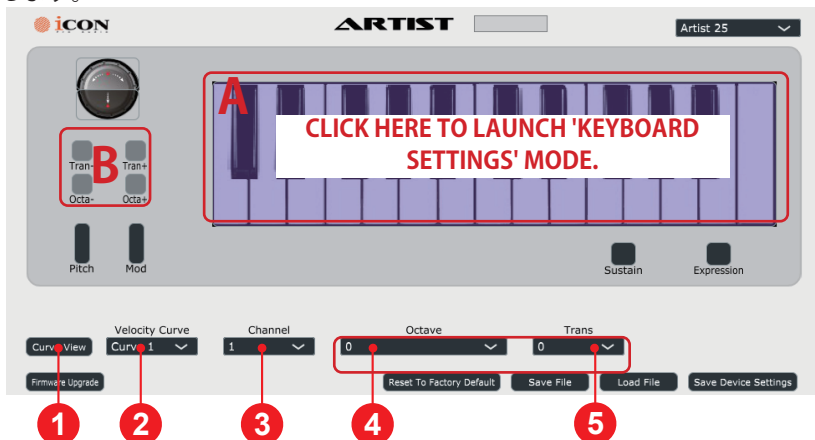


割り当て：ミュージカルキーボード設定モード

このモードは、Artist 機器のミュージカルキーボード部の動作と応答性を設定するため、「ミュージカルキーボード設定モード」と呼ばれます。このモードに入るには、iMAP内のミュージカルキーボードをクリックし、紫色でハイライト表示されるようにしてください。

ドロップダウンメニュー群 (1～5)

この5つのドロップダウンメニュー群は、キーボード設定モード時に表示内容が変化します。



A：iMAPのこの領域をクリックすると「ミュージカルキーボード設定」モードが起動します。ドロップダウンメニュー群で新たに調整した値を使用して、ベロシティカーブの選択、オリジナルのカスタムベロシティカーブの作成、さらにキーボードの八度・半音単位での移調を行うことができます。

MIDIポート1経由で、キーボード本体が使用するMIDIチャンネルを選択することも可能です。

B：トランスポーズボタンとオクターブボタンは、iMAP内では機能しないためグレー表示となります（キーボード本体の物理ボタンはもちろん動作します）。トランスポーズとオクターブの変更は、iMAPのドロップダウンメニュー群（4および5）から実行できます。

1. カーブ表示

「ミュージカルキーボード設定」モード時、このボタンをクリックすると、隣接するドロップダウンメニュー（「ベロシティカーブ」）で選択されているベロシティカーブを表示するウィンドウが開きます。

「ベロシティカーブ」ドロップダウンメニューで「カスタムカーブ」が選択されている場合、マウスでノードを選択して移動させることで、カスタムカーブを編集できます。

「カスタムカーブデフォルトにリセット」を押すと、カスタムカーブがファクトリー設定にリセットされます。

OKを押すと、カーブ表示ウィンドウが閉じます。

2. ベロシティカーブ

「ミュージカルキーボード設定」モードを起動した後（キーボードをクリックして紫色にハイライト表示させる）、このドロップダウンメニューは「メッセージ種別」から「ベロシティカーブ」に切り替わります。

ベロシティカーブとは、キーを押す力（または速度）を MIDI ベロシティ値に変換する仕組みのことで、この値が通常、音符の音量や強弱を制御します。

計7種類のベロシティカーブから選択できるほか、5つの調整可能なノードを使って「カスタムカーブ」を独自の仕様に編集することもできます。

各カーブのグラフィカルな表示は「カーブ表示」をクリックすると確認できます（前ページの図を参照）。カスタムカーブを編集するには、ドロップダウンメニューから「カスタムカーブ」を選択します。5つのノード（紫色の円）をドラッグするだけでカスタムカーブを調整できます。変更は即時に反映され、キーボードの動作に表れます。設定を保存するには「デバイス設定の保存」をクリックしてキーボードに保存します。iMAP ファイルを保存するには「ファイルの保存」を選択します。

3. チャンネル

1～16の範囲で MIDI チャンネルを選択します。このチャンネルは、Artist コントローラーのミュージカルキーボード部が MIDI データを送信する際に使用されます。

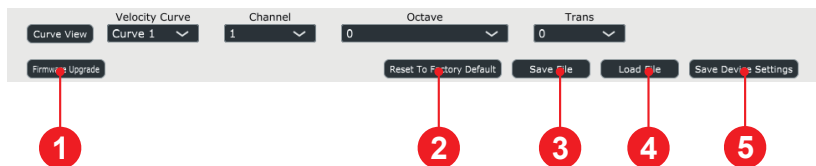
4. オクターブ

このドロップダウンメニューを使用して、キーボードの全音域をオクターブ単位で上下にシフトし、物理的なキーの範囲外の音にアクセスすることができます。ドロップダウンメニューの値を選択して、全キーを ± 12 半音シフトさせます。例えば、キーボードが C3 に設定されている状態で「+1」を選択すると、出力される音は C4 になります。オクターブシフトは、変更またはリセットされるまで有効であり、接続された DAW（デジタルオーディオワークステーション）や MIDI 対応機器に反映されます。これらの変更はキーボード本体からも行うことができます。

5. Trans（移調）

キーボードで演奏する音の音高を（オクターブ未満の範囲で）上げたり下げたりします。この機能を使用すると、演奏する調を変更することができます。例えば、C 調で演奏しているときに「+4」を選択すると、キーボードの出力音が +4 半音シフトされます。この状態で C のキーを押すと、E の音が送信されます。この変更はすべての MIDI ノート出力に影響し、リセットまたは変更されるまで有効であり、結果は DAW や MIDI 設定で確認できます。これらの変更はキーボード本体からも行うことができます。

全般設定



1. ファームウェアアップグレード

このボタンをクリックして、Artist 機器のファームウェアアップグレードウィンドウを開きます。ファームウェアアップグレードの手順については、50 ページを参照してください。

2. 工場出荷時設定へのリセット

このボタンをクリックして、iMAP を工場出荷時のデフォルト状態にリセットします。キーボードも工場出荷時設定にリセットしたい場合は、このボタンを押した後に「デバイス設定の保存」ボタンを押し、デフォルト状態をキーボードに書き込んでください。

3. ファイルの保存

このボタンをクリックして、iMAP の設定をコンピュータ上の任意の場所にファイルとして保存します。ファイルの拡張子は「.imap」です。

4. ファイルの読み込み

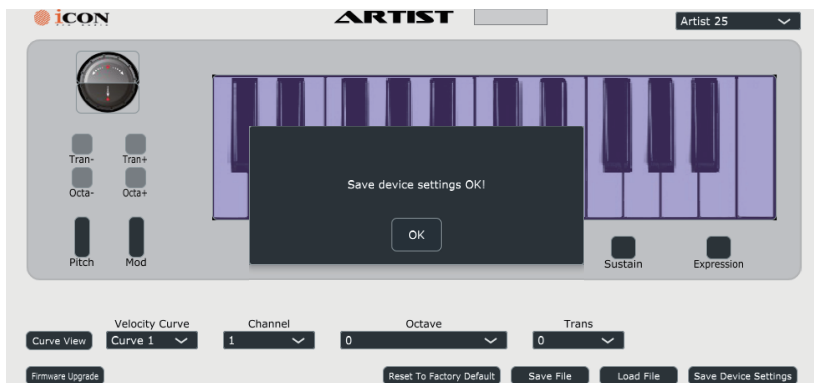
このボタンをクリックして、iMAP™ ソフトウェアの設定を Artist 機器に読み込みます。

補足: 複数の .imap ファイルを保存し、必要に応じて iMAP に読み込むことができます。例えば、ライブ演奏用に一部の機能をハードウェアコントロールに MIDI マッピングした場合、この設定を「live.imap」として保存し、スタジオ/レコーディング時にはデフォルト設定に戻すことができます。

5. デバイス設定の保存

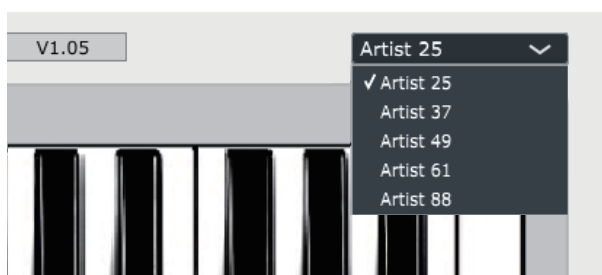
このボタンをクリックして、iMAP の設定をキーボードに送信します。データの送信に成功すると、確認メッセージが表示されます。この方法でデータを送信する際は、オーディオインターフェース、その他のミュージカルキーボードや機器といった周辺機器を切断または電源オフにしておくことを強く推奨します。これにより、コンピュータへのデータ伝送経路が安定し、中断なく通信を行うことができます。

補足: 設定を変更すると、変更内容は iMAP からキーボードに即時に送信されます。「デバイス設定の保存」ボタンは、これらの設定を永続的に保存するためのものです（つまり、キーボードの電源をオフにして再びオンにした後も、設定は保持されます）。

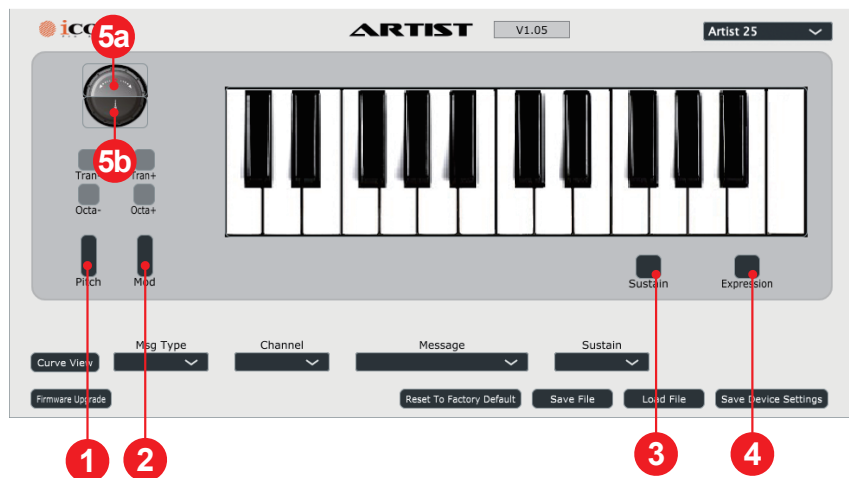


6. デバイス種別

iMAP ソフトウェア右上にあるこのドロップダウンメニューをクリックし、ご使用の Artist キーボードの特定のバージョンを選択してください。特にファームウェアのアップグレード時には、正確に選択することが重要です。



その他のコントロール（ホイール、ペダル、ロータリーエンコーダー）



1. ピッチ（ピッチベンド）

ピッチホイールは、キーボード左側に配置されたバネ復帰式コントローラーです。ギターやバイオリンなどの楽器で見られる表情豊かな音程変化を模擬し、演奏者がリアルタイムで音符の音程を上下させることができます。デフォルト設定ではMIDI CC値を使用せず、代わりに専用のピッチベンドメッセージを送信します。このメッセージは標準的なCCメッセージよりも分解能が高いため、他のMIDIコントロールに比べて滑らかで細かな音程ベンドが実現できます。ほとんどのDAWや仮想楽器はピッチホイールの動きに即座に反応するため、表情豊かな演奏を行うための必須コントロールとなっています。

2. Mod（モジュレーション）

モジュレーションホイール（略称：Mod）は、演奏にビブラート、トレモロ、フィルタースイープといった時間軸に関連するエフェクトを加えるために広く使用されます。MIDI CC1 データを送信し、シンセサイザーやサンプルライブラリーではデフォルトで割り当てられていることが多いです。ピッチホイールと異なり、モジュレーションホイールは通常、操作位置に固定されるため、時間をかけた持続的なモジュレーションが可能です。その機能は使用する楽器によって異なり、例えばビブラートの深さを強めたり、フィルターのカットオフ周波数を開いたりすることができます。モジュレーションホイールを他のCC値に再割り当てすることも可能ですが、CC1は多くの仮想楽器で広く対応されています（再割り当てを行う場合は「Mod」をクリックして紫色にハイライト表示し、ドロップダウンメニュー「Message」からCC値を選択してください）。

3. サスティン

iCON SPD-01 のようなオプションのモメンタリーペダルをキーボードの専用サスティンペダル入力に接続すると、ピアノのサスティンペダルと同じ機能を実現できます。ペダルを踏み込むと MIDI CC64 データを送信し、接続された機器に対して、キーを離した後も音符を持続させる指令を送ります。マウスで「サスティン」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから別の MIDI メッセージを割り当てることで、サスティンペダルを他の CC 機能に再割り当てすることも可能ですが、その場合、このピアノ特有の重要な機能が失われます。逆に、CC66 といった CC 値を試してみるとよいでしょう。この値はソステヌートペダル（ピアノの中央のペダル）の動作を模擬します。ソステヌートペダルは、踏み込んだ時点で既に押されている音符のみを持続させ、踏み込んだ後に演奏する音符は通常通りに鳴り、持続されません。「サスティン」をクリックして紫色にハイライト表示した状態で、サスティンのドロップダウンメニューから「離し時」を選択すると、ペダルコネクターの極性を反転させることができます。

4. エクスプレッション

エクスプレッションペダルはボリュームペダルに似ていますが、ダイナミクスと強弱をより細やかにリアルタイムで制御できます。MIDI CC11 データを送信し、オーケストラや映画音楽のスコア作成でよく使用され、演奏の感情的な起伏を作り出し、滑らかな音量の増減を実現します。多くの仮想楽器は、特にベロシティ階層やモジュレーションベースのアーティキュレーションを持つものが、ダイナミクス制御に CC11 に対応しています。エクスプレッションペダルを他の CC 値に再割り当てすることも可能ですが、標準の CC11 マッピングに依存するライブラリとの互換性が低下する場合があります。

エクスプレッション (CC11) とモジュレーション (CC1) を組み合わせて使用することは、仮想オーケストラ楽器では一般的です。オプションのペダルを「エクスプレッション」用に使用し、DAW での録音、演奏、オートメーション時にモジュレーションホイールを併用すると、非常に強力な組み合わせとなります。ペダルの動作を変更したい場合は、「エクスプレッション」ボタンをクリックして紫色にハイライト表示し、ドロップダウンメニューから MIDI メッセージを割り当ててください。なお、エクスプレッションペダルまたはそのポートの極性は反転できません。

5. ロータリーエンコーダー

ハードウェア上ではロータリーエンコーダーは一体型の部品として構成されていますが、iMAP上では2つのセクションに分かれて表示されます。これは使いやすさを考慮した設計で、この機能の2つの独立した要素を再割り当てできるようにするためです。a) 左右回転操作、b) 押しボタン操作 – それぞれの機能を必要に応じて再割り当て可能です。

5a - VOLUME (ボリューム) – 左右回転操作は CC7 (ボリューム) にプリマップされています。これは通常、演奏中の仮想楽器の出力ボリュームを制御し、仮想楽器が配置されているトラックのチャンネルボリュームを制御するものではありません。

5b - PAN (パン) – 押しボタン機能は CC10 (パン) にプリマップされています。押すとパンモードに切り替わります。ロータリーエンコーダーを操作して左右のパンを調整できます。再度押すとボリュームモードに戻ります。

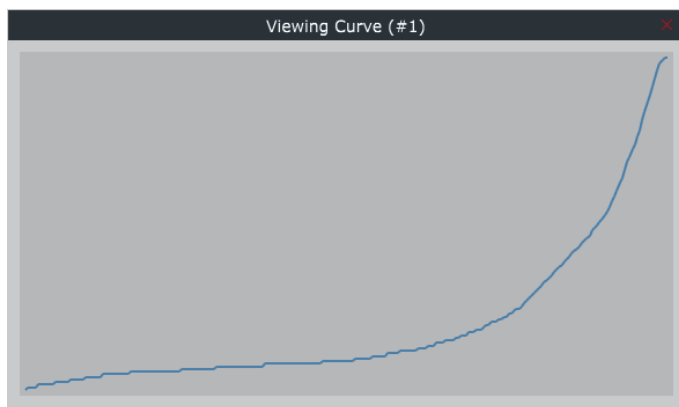
ベロシティカーブ表示

ベロシティカーブは、キーを押す力や速度が MIDI ベロシティ値に変換される方式を制御します。この値は通常、音符の音量や強弱に影響します。異なるベロシティカーブを選択することで、キーボードの応答性を自分の演奏スタイルや音楽の場面に合わせて調整できます。例えば、ソフトカーブを使用すると、繊細なダイナミクスを持つ優美な楽句を演奏しやすくなり、スティーブカーブを使用すると、少ない力でパンチの効いたサウンドを出すことができます。これは、ピアノや弦楽器といった表情豊かな楽器を演奏する場合、アグレッシブなシンセサイザーやドラムをトリガーする場合、あるいはキーの感触を自分の指の力やテクニックに合わせたい場合に特に役立ちます。カスタムカーブを使用すると、キーボードの応答性を微調整して、最大限のコントロールと操作性を実現することもできます。デフォルト設定はカーブ 1 と同様で、自身のニーズに合わせて調整可能です。

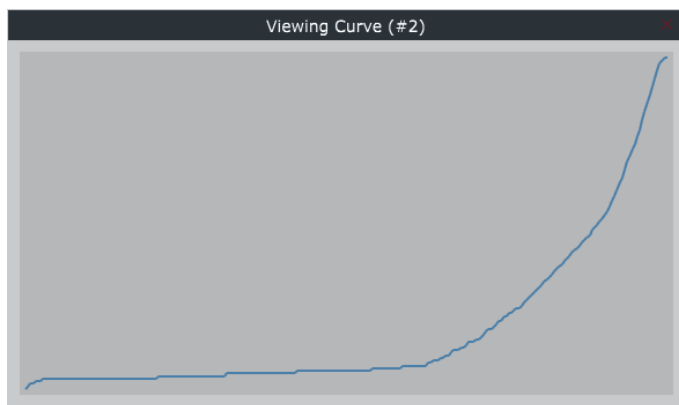
カーブ表示機能では計 8 種類のカーブを確認できます。

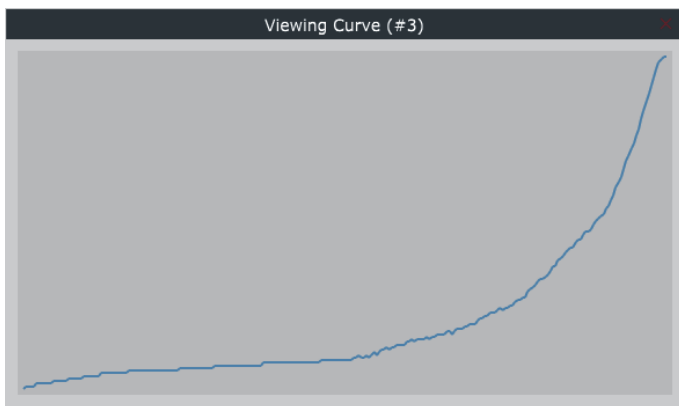
1. iMAP 上のミュージカルキーボードをクリックし、紫色にハイライト表示させる
2. ベロシティカーブのドロップダウンメニューから任意のカーブを選択する
3. 「カーブ表示」をクリックする

カーブ 1

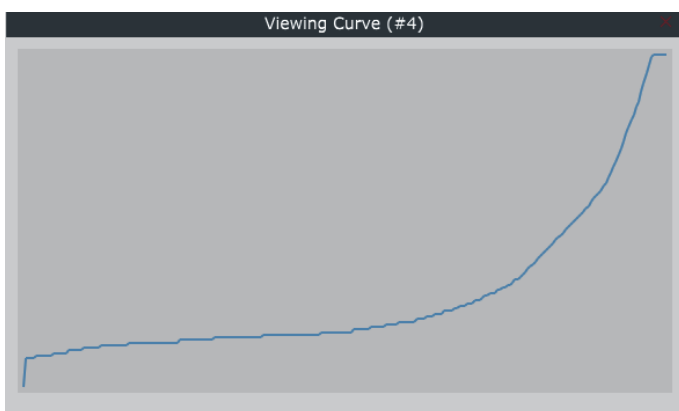


カーブ 2

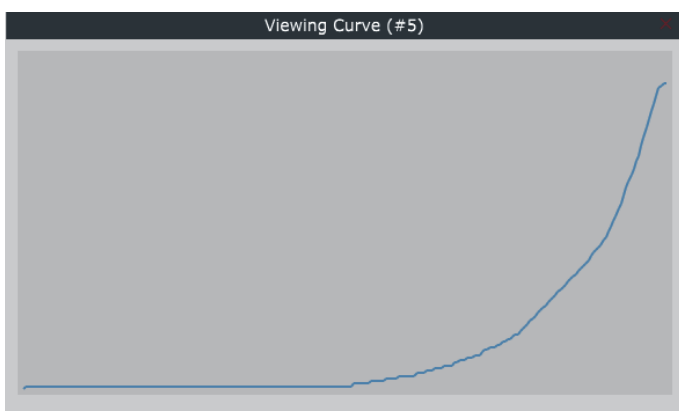




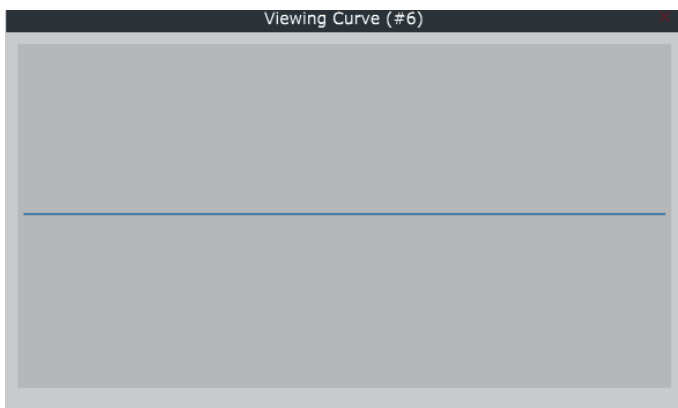
カーブ 3



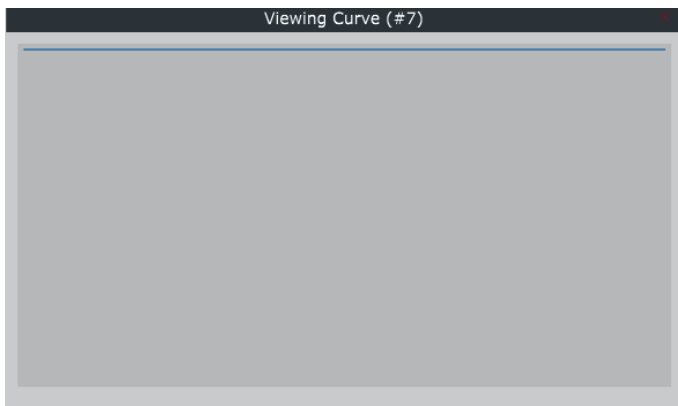
カーブ 4



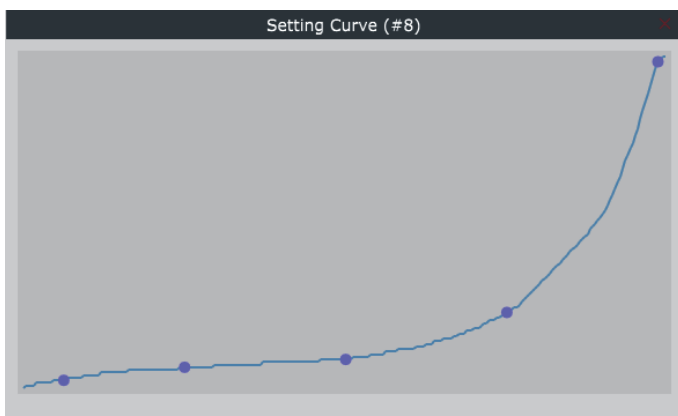
カーブ 5



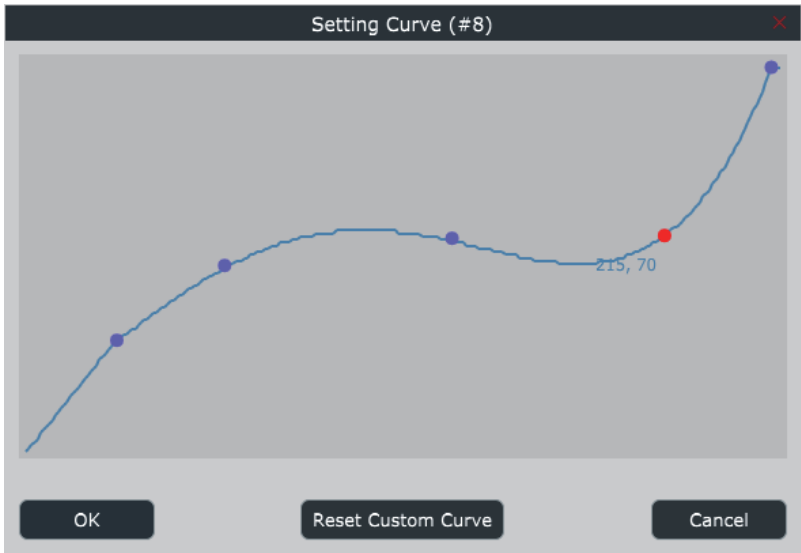
カーブ 6



カーブ 7



カスタムカーブ (デフォルト状態)



すべてのカーブ表示ウィンドウには「OK」ボタンが配置されています。このボタンを押すと「カーブ表示」を終了できます。

カスタムカーブには2つ目のボタン「カスタムカーブデフォルトにリセット」があります。このボタンを押すと、カスタムカーブがデフォルト状態にリセットされます。

ベロシティカーブの説明

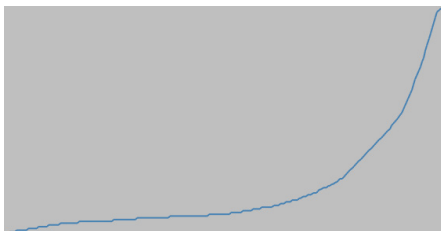
カーブ1

タイプ：ソフト／エキスプレッシブ

説明：このカーブは、軽くキーを押した場合には出力ベロシティ値が非常に低く、より強い力で押さないと高いベロシティ値に到達しません。

効果：繊細なピアノの楽句やアンビエント・テクスチャなど、弱音域のダイナミクスを細かくコントロールしたい表情豊かな演奏に最適です。

注意点：意図的に選択した場合を除き、軽いタッチのユーザーには反応が悪い、または「音量が小さすぎる」と感じる場合があります。



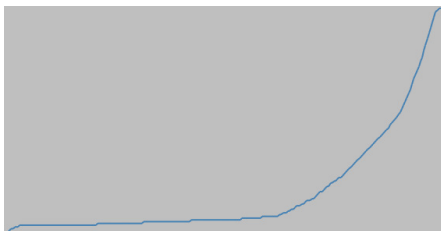
カーブ2

タイプ：モデレートリー・ソフト

説明：カーブ2は緩やかにスタートし、軽いキー操作に対して繊細な応答を示しますが、カーブ1よりも少し早い段階から緩やかにベロシティ値が上昇します。最大ベロシティ値に到達するには依然として力が必要ですが、その変化はカーブ1ほど極端ではありません。

効果：弱音域で演奏する際に大音量のノートを避けつつ、適度な力でフルダイナミックレンジを活用したい演奏者に最適です。

注意点：リニアな感触やピアノに近い感触に慣れた演奏者には、やや音量が抑えられた印象を与える場合があります。



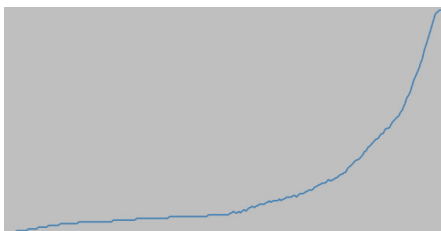
カーブ3

タイプ：モデレートリー・ソフト／エキスプレッシブ

説明：カーブ3は、低音域での傾きがやや緩やかな緩やかな立ち上がりの特徴とし、その後、最大ベロシティ値に向けて滑らかに上昇します。繊細なダイナミクスと演奏性のバランスに優れています。

効果：弱～中程度の力で演奏し、最大ベロシティ値に到達するまでの余裕を求める演奏者に適しています。表情豊かな弦楽器ライブラリーやニュアンス豊かなシンセパッチとの相性が良好です。

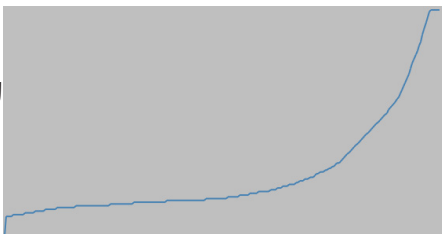
注意点：ドラムやパーカッシブなシンセサイザーのように、即座に高いベロシティ値が必要な場合には、インパクトが不足する可能性があり、最大の強度を得るためにはより強い力でキーを押す必要があります。



カーブ 4

タイプ：ソフト～モデレートカーブ

説明：カーブ 4 はカーブ 1～3 に比べ、初期のベロシティ値の起点がやや高く設定されています。そのため低ベロシティ域の出力は依然として抑えられますが、その抑制の程度は極端ではありません。カーブは全体的に安定して上昇し、上限付近で急激にベロシティ値が高まります。



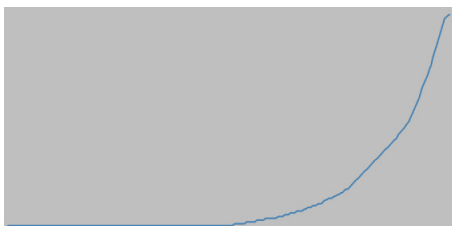
効果：超ソフト系カーブよりも初期のインパクトを少し強めつつ、ダイナミクスの柔らかさを保ちたい演奏者に適しています。表情豊かなキーボード演奏、パッド音色、あるいは大音量域のダイナミクスも活用したい映画音楽のスコア作成に最適です。

注意点：最高ベロシティ域に到達するには依然としてある程度の力が必要です。また、速いテンポで演奏するユーザーは、意図的に力を込めない限り、応答がやや抑えられていると感じる場合があります。

カーブ 5

タイプ：ベリーソフト

説明：カーブ 5 は初期の応答がほぼフラットです。軽くキーを押した段階ではベロシティ値の出力が最小限、あるいはゼロに近く、カーブのごく後半になってから急激にベロシティ値が上昇します。



効果：低音量域を精密にコントロールしたい場合や、レイヤードサウンドデザイン・アンビエントサウンドデザインにおいて誤って大音量のノートを発音することを避けたい場合に最適です。また、極端に静かなダイナミクスと極端に大きなダイナミクスの対比を演出する用途にも活用できます。

注意点：一般的な演奏に使用すると、応答が悪い、あるいは遅延があるように感じる場合があります。柔らかい表情やミニマリズムなサウンドを意図して選択したのでない限り、即時的な出力を期待するユーザーを悩ませる可能性があります。

カーブ 6

タイプ：一定値／フラット

説明：このカーブは、キーを押す力の強弱に関わらず、単一の固定ベロシティ値を出力します。水平なラインは、すべてのノートが同じ強度で発音されることを示しており、ベロシティ値はおそらく中程度の範囲（例：ベロシティ 64）に設定されています。



効果：ドラムサンプルを均一な強度でトリガーする場合や、ベロシティの変動なしに

後で編集する必要があるパートを録音する場合など、一定の出力が必要なシチュエーションに最適です。

注意点：ダイナミックな表現が完全に失われます。ピアノ、管弦楽器、またはニュアンスや弱音～強音のコントロールが必要なパートには不向きです。

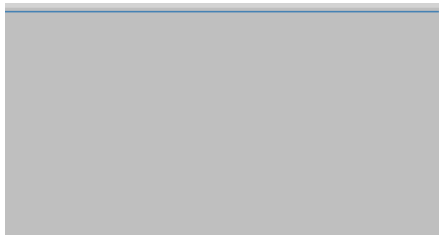
カーブ7

タイプ：一定値／高出力

説明：カーブ6と同様に固定ベロシティ値の設定ですが、水平なラインがスケールの最上部に位置しており、キーを押すたびに最大の MIDI ベロシティ値（127）が出力されます。

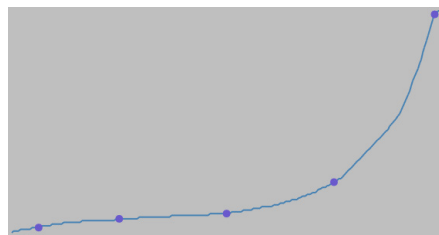
効果：音量の大きなドラムヒット、スタブ、またはトーンが最大ベロシティに依存するアグレッシブなシンセサイザーをトリガーする場合など、一定の最大強度で演奏するシチュエーションに最適です。ダイナミクスが不要なライブ演奏でも役立ちます。

注意点：ダイナミックなコントロールが完全になくなり、すべてのノートが最大音量で発音されます。ピアノスタイルの演奏やニュアンス豊かな演奏には不向きです。



カーブ8

カーブ1とほぼ同じ特性ですが、このカーブはカスタマイズ可能です。

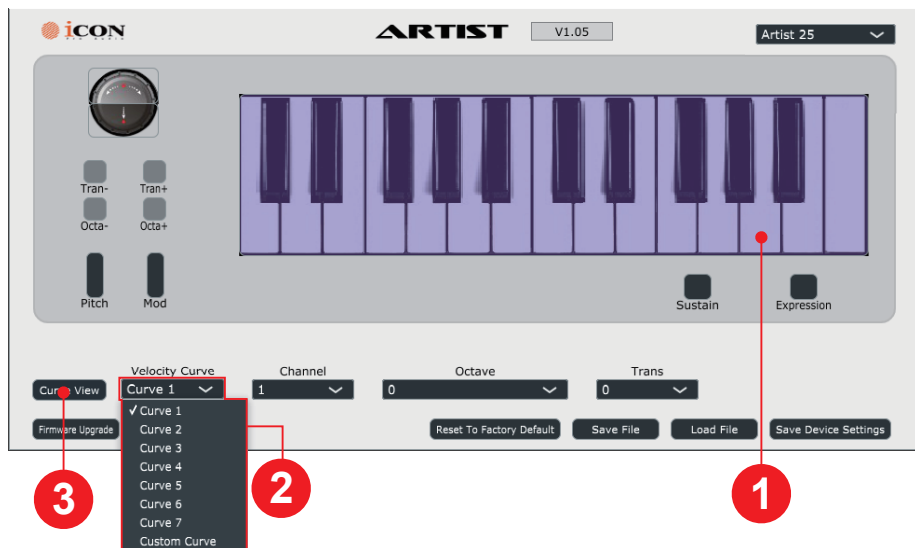


ベロシティカーブ クイックリファレンスチャート

カーブ	タイプ/感触	最適な用途	注意点
1	極めてソフト、エク スプレッシブ	アンビエント、繊細な 楽句	音量が小さすぎる/反応が 悪いと感じる場合がある
2	ソフト/モデレー ト	余裕を持った滑らかな ダイナミクス	やや音量が抑えられた印象 になる
3	バランスの取れた ソフト	ニュアンス豊かなシン セ/弦楽器のコントロ ール	ドラムにはインパクトが不 足する
4	マイルドなカーブ	汎用的な演奏	最大出力がやや低下する
5	極めてソフト、立ち 上がりが遅い	静かなテクスチャ、アン ビエントレイヤリン グ	反応が悪いと感じる場合 がある
6	フラット (固定値)	安定した MIDI トリガ ー (例: ドラムサンプ ル)	ダイナミクスが全くない
7	最大値固定 (常に 127)	力強いシンセスタブや ライブ演奏	表現力が全くない
8	カスタム	ユーザー定義のあらゆる 用途	ユーザーが手動で設定する 必要がある

カスタムベロシティカーブの作成方法

詳細な情報については、キーボード設定モードのページ（第 27 ページより開始）を参照してください。ただし、ここにベロシティカーブの変更方法に関する簡易操作ガイドを記載します。



1. IMAP のキーボードセクションをクリックし、紫色でハイライト表示させます。

2. プリマップ済みカーブを使用する場合はカーブ 1～7 から選択します（カーブ 1 がデフォルト設定です）。選択後、キーボードに即座に適用されます。各カーブのグラフは「カーブ表示」（3）をクリックすると確認できます。

または

独自のベロシティカーブを作成する場合は「カスタムカーブ」（カーブ 8）を選択します。「カーブ表示」（3）をクリックしてカーブを確認し、ノード（操作中は赤色に変わる紫色の円）をドラッグ&ドロップして、独自のカスタムベロシティカーブを作成します。必要に応じて設定を保存してください。

MIDI に関するさらなる情報

前章では、MIDI メッセージと、Artist シリーズの一部のコントロールを任意の CC 値に変更できる点について解説しました。これらの値の中には、音楽的でなく無用なものや、特定のコントロールタイプには不適切なものもあります。ただし、自身の用途に合う値が見つかる場合もあります。

デフォルト設定では、Artist シリーズのボタン、ホイール、ペダルコントロール（ペダルは別売）は、業界標準に準拠した特定の CC 値を送信します。**ほとんどのユーザーは設定変更の必要がなく、ハードウェアのボタン、ホイール、オプションペダルのデフォルト MIDI 値を変更せずに、長年にわたって Artist シリーズを快適に使用できます。**

ただし、ソフトウェアの使用方法に合わせてハードウェアをカスタマイズするために CC 値を変更したい場合は、変更が可能です。

例えば、フィルターカットオフを常時コントロールする場合、ホイールを CC74（一般的に音色の明るさ制御に使用）に割り当てると便利です。但し、この設定を行うと元の CC 値は削除され、積極的に再設定しない限り復元されません。

ただし、明確な計画なしに CC 値を再割り当てするとリスクが伴います。一部の値は特定のコントロールタイプに全く適していません。例えば、ボタンを CC7（ボリューム）に割り当てると、極端な動作が発生する可能性があります。ボタンはオン/オフのメッセージを送信するのに対し、ボリュームは通常連続的な値の範囲で制御されるため、最大音量から瞬時に無音に切り替わるなどの現象が起こります。また、CC 値の再割り当ては混乱のリスクを高めます。特に新しい割り当てを忘れた場合や、標準的な動作を期待する他のユーザーと協業する場合に問題が生じやすくなります。

DAW との競合も発生する可能性があります。多くの DAW は、オートメーション、トランスポートコントロール、プラグイン操作に特定の CC 番号を使用しています。これらの番号とキーボードの CC 割り当てが重複すると、ノブがプラグインのパラメータとメインボリュームの両方を制御するなど、異常な動作が発生する場合があります。モジュレーションやサステイン（CC1 や CC64）といった標準コントロールを再割り当てすると、一部の楽器が正常に応答しなくなることもあります。

CC 値の再割り当てを最大限に活用するには、変更内容を明確に記録し、強い理由がない限り標準の割り当てを遵守するのが最善です。また、最も頻繁に使用するプラグインや DAW で設定をテストすることで、問題を早期に発見することができます。

MIDI CC 値の再割り当ては、システムの制御感を高めるスマートで実践的な方法であり、カスタマイズ、効率化、創造的表現の拡大を実現できます。しかし、どんな強力なツールにも共通することですが、慎重に使用する必要があります。私たちの強いアドバイスは、自身が何をしているのかを明確に理解している場合（つまり、上級ユーザーと自認できる場合）を除き、Artist シリーズのデフォルト値を維持するのが最も良い選択である、というものです。

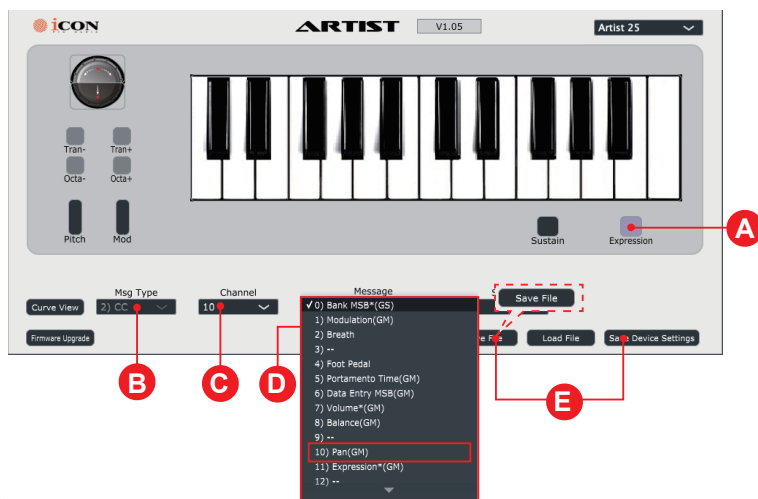
CC 値の再割り当て

Artist シリーズの使用可能なコントロールに CC 値を割り当てたい場合は、以下の内容を参照してください。

注記：以下の機能について、CC 値および MIDI チャンネルを変更することができます。

- ロータリーエンコーダーの左右回転機能および押しボタン機能
- モジュレーションホイール
- ピッチホイール (MIDI チャンネルのみ変更可能)
- サスティンペダルおよびエクスプレッションペダル

例



手順：

A：プログラムしたいパラメーターを選択します。本ケースでは、ユーザーがエクスプレッションペダルのコントロールを選択しています。ペダルの機能を「エクスプレッション」に対応する CC 値 (CC11) から「パン」に対応する CC 値 (CC10) に変更したいと考えています。

B：グレーアウトされた「メッセージタイプ」ドロップダウンメニューで、CC が選択されていることを確認します (この項目は設定変更不可となります)。

C：ペダルを動作させる MIDI チャンネルを選択します。本ケースでは、ユーザーが MIDI チャンネル 1 を選択しています。

D：MIDI メッセージを選択します。本ケースでは、ユーザーがデフォルト値の CC11 (エクスプレッション) を CC10 (パン) に変更しています。

E：設定を保存する、および／または設定値をキーボードに送信します。これらのオプションを使用すると、iMAP ファイルを保存してコンピューター上で簡単に呼び出すことができます。また、選択した設定をキーボードに送信することもできます。このプロセスが完了すると、キーボードに設定が永久的に保存されるため、キーボードの電源をオフにして再びオンにしても設定は保持されます。

CC 値の割り当て – 便利な CC 値紹介

これらの値は汎用 MIDI CC 規格に準拠しています。追加オプションについては iMAP ソフトウェア内で確認できます。iMAP のドロップダウンメニューで「-」と表示されている CC 値は、ジェネラル MIDI (GM) 規格では未定義となっています。一部のケースでは、これらの値を用いてバーチャルインストゥルメントの特定機能を制御できますが、これは当該バーチャルインストゥルメント内にその特定 CC 値が設定されているかどうか依存します。また、別の方法として、キーボードの物理コントロールに「-」の CC 値を割り当て、DAW (デジタルオーディオワークステーション) 内のパラメーターとリンクすることも可能です。詳細な操作方法については各 DAW のマニュアルを参照してください (DAW によって操作手順は異なります)。インターネット上の多くのリソースでは、全 128 種類の MIDI CC 値 (0 ~ 127) の完全な一覧が公開されています。以下の表では、最も汎用的に使用され、広く対応されている CC 値の割り当て例を選定して紹介します。

CC 番号	コントロール名	説明
0	バンクセレクト MSB (GS)	マルチバンク対応のシンセサイザーにおいて、異なるサウンドバンク間を切り替えるために使用されます
1	モジュレーション (GM)	通常はモジュレーションホイールに割り当てられ、ピブラートまたは類似のモジュレーションを制御します。
2	プレスコントロール	吹奏コントロールをシミュレートし、管楽器 / プレスコントローラーの入力デバイスで使用されます。
4	フットペダル	汎用フットコントローラー (例: ボリュームやエフェクトレベル調整用)。
5	ポルタメントタイム (GM)	portamento è attivo. ポルタメントがオンのとき、音符間のグリッサンド時間を調整します。
7	ボリューム (GM)	チャンネル全体のボリュームを制御します。
8	バランス (GM)	チャンネルの左右バランスを調整します。
10	パン (GM)	ステレオパンの位置を設定します。
11	エクスペッション (GM)	ダイナミックな表現 (例: 音量の徐増 / 徐減) のための補助的ボリュームコントロールです。
64	ホールドペダル 1 (GM)	サスティンペダルのオン / オフです。
65	ポルタメント (GS)	ポルタメントのオン / オフ切り替えます。
66	ソステヌート (GS)	ソステヌートペダル機能です。
67	ソフトペダル (GS)	ソフトペダル (ユナコルダ) の制御です。
68	レガートペダル	レガート演奏スタイルを有効にします。使用方法は機器に依存します。
69	ホールドペダル 2	代替的なホールドペダルです。使用方法はシンセサイザーによって異なります。
74	明るさ (フィルターカットオフ)	frequenza di cutoff di un filtro passa-basso 音色の明るさを制御し、多くの場合ローパスフィルターのカットオフ周波数に割り当てられます。
91	リバーブレベル (GS)	リバーブエフェクトの量を制御します。
92	トレモロデプス	トレモロエフェクトの深さを制御します。
93	コーラスレベル (GS)	コーラスエフェクトの量を制御します。
94	チェレスタデプス	チェレスタエフェクトの深さ (デチューニング) を制御します。
95	フェイザーデプス	フェイザーエフェクトの深さを制御します。
126	モノフォニックモードオン	volta). 機器をモノフォニックモード (一度に 1 音) に設定します。
127	ポリフォニックモードオン	機器をポリフォニックモードに設定します。

CC 値の割り当て – 実例

例として、ロータリーエンコーダーに CC91（リバーブレベル-GS）を割り当ててみましょう。

背景: CC91 は、Roland による General MIDI (GM) の拡張規格である MIDI GS (General Standard) 仕様の一部です。互換性のある楽器やプラグインでリバーブの深さを制御するために一般的に使用されます。

重要: CC91 は MIDI メッセージであり、音響効果ではありません。CC91 が割り当てられたノブを回すと、機器がリバーブを搭載し、応答するよう設定されている場合、楽器またはプラグインに「リバーブを増減する」よう指示します。

本例では、内部リバーブコントロールを持つ仮想楽器を使用していると仮定します。

ステップバイステップ:

iMAPを開き、左右の動作が表示されているロータリーエンコーダーの上部セクションを探します。

1. ロータリーコントロールをクリックし、紫色でハイライト表示します。
2. メッセージドロップダウンメニューで、フィールドは「CC」に固定されます。「CC」が表示されていることを確認してください。
3. CC 番号を 91（リバーブレベル-GS）に設定します。
4. 必要に応じて MIDI チャンネルを設定します（例：チャンネル 1）。
5. 「Save Device Settings」をクリックし、変更内容を Artist Series キーボードに送信します。確認メッセージが表示されます。



6. DAW またはインストゥルメントプラグイン上で、MIDI ラーン (MIDI Learn) 機能を使用して、CC91 をプラグインインターフェース上のリバーブパラメーターにリンクしてください。

なぜ MIDI ラーンが必要なのか？

ノブから CC91 が送信されるようになって、最新の多くのバーチャルインストゥルメントやプラグインは、このメッセージに自動的に反応しません。

MIDI ラーンは CC91 の信号を受信し、それをプラグインの「リバーブレベル」ノブなどの視覚的なパラメーターに紐付けます。これにより、コントローラーを回すと、音と画面上の表示がリアルタイムで更新されます。

まとめ：

割り当てたノブを回すと、Artist キーボードから CC91 (リバーブレベル) が送信されます。

MIDI ラーンが、その信号をプラグインまたは DAW 上の適切なコントロールに接続します。

結果：ノブを回すことで、聴こえるリバーブの量が変化し、プラグインの画面上のノブも連動します。表現力豊かなリアルタイム操作が可能になります。

注記：MIDI ラーンの実装方法は DAW によって異なります。お使いの DAW のマニュアルを参照してください。MIDI ラーンの詳細については 48 ページをご覧ください。

また、特にボリュームやリバーブといった主要なパラメーターだけを制御したい場合、MIDI ラーンのみでの使用で必要十分な場合があることに留意してください。

ただし、多くのユーザーは、事前に割り当てられた CC 値 (例：リバーブレベル用の CC91) と MIDI ラーンを併用し、より高い柔軟性を実現しています。

その理由は、CC91 のような特定の CC 値を割り当てることで、ノブなどのコントロールに一貫した識別情報が与えられるためです。これはプリセットを利用するハードウェア設定や、特定の CC 割り当てを想定した DAW において特に有益です。一方、最新のプラグインの多くは、受信した CC メッセージに自動的に反応しません。そこで MIDI ラーンが役立ちます。MIDI ラーンは任意の受信 MIDI CC メッセージを検出し、CC の標準的な用途に関わらず、そのメッセージをプラグインのリバーブノブなど、任意のソフトウェアパラメーターに手動でバインドできます。ノブに CC91 を割り当ててから MIDI ラーンを適用することで、以下が実現できます。

- コントローラーが常に既知の固定 CC メッセージを送信することを保証
- プラグインまたは DAW がそのメッセージを解釈し、任意の選択したパラメーターにマッピング可能

この併用手法により、固定 CC 割り当てによる安定性と、MIDI ラーンの手動マッピングによる柔軟性の両方を最大限に活用できます。

その他の用途 – シンセサイザー制御と MIDI ラーン

Artist シリーズのキーボードは、コンピューターおよび Cubase、Logic Pro、Pro Tools といったデジタルオーディオワークステーション（DAW）との併用を主な目的として設計されています。USB 接続すると、キーボードは MIDI データを DAW に送信し、バーチャルインストゥルメントやプラグインを使用した演奏や録音が可能になります。

スタンドアロン・インストゥルメント

DAW と完全に連携するだけでなく、Artist シリーズは DAW に依存せず動作するスタンドアロン版のバーチャルインストゥルメントとも併用できます。多くのオーケストラライブラリ、ピアノエミュレーター、シンセサイザーには、DAW 内で使用するプラグイン版とデスクトップから直接起動できるスタンドアロン版の両方が用意されています。これにより、DAW セッション全体を読み込まなくても、Artist キーボードで手軽に演奏や練習を行えます。コンピューター上のスタンドアロン・インストゥルメントに接続するには、通常、設定画面（多くの場合、歯車アイコンで表示）で、アクティブな MIDI 入力が Artist キーボードになっていることを確認してください。

General MIDI モジュール

Artist キーボードを General MIDI (GM) 音源モジュールと併用することも可能です。これらはソフトウェアまたはハードウェアのシンセサイザーで、ピアノからドラム、オーケストラ系音色まで、128 種類のプリセット音色（番号 0 ~ 127）を持つ GM 規格に準拠しています。GM シンセの音質は製品によって大きく異なりますが、外部ライブラリを必要とせず、アイデアのスケッチ作成や基本的な音色の発音に役立ちます。ハードウェアモジュールの場合は、MIDI 接続による Artist キーボードの接続方法について、メーカーのマニュアルを参照してください。このようなハードウェアモジュールには内蔵スピーカーが搭載されていることが少ないため、PC に接続する必要が生じる場合があります（機器の仕様上必須となる場合もあります）。または、モジュールに外部スピーカーを接続できる場合もあります。

ハードウェアシンセサイザー

ハードウェアによる音声生成に興味のあるユーザーは、Artist キーボードを専用の MIDI ハードウェアシンセサイザーに接続できます。これには MIDI ケーブルによる物理接続が必要です。接続後、Artist キーボードは MIDI ノートとコントロールデータを直接シンセに送信し、シンセ側で音声が発生されます。お使いのシンセメーカーのマニュアルを参照してください。

MIDI ラーン

Artist キーボードのノブ、ボタン、ペダル（別売）、ホイールなどの物理コントロールを、バーチャルインストゥルメントやプラグインのパラメーター（例：フィルターカットオフ、ボリューム、リバーブ量）に割り当てたい場合、多くのプラグインが MIDI ラーン機能に対応しています。一部の DAW では、プラグインのグラフィカルユーザーインターフェース（GUI）上のコントロールを右クリックし、「MIDI CC をラーン」のようなオプションを選択するのが一般的な操作です。その後、Artist キーボード上の任意のコントロールを動かすと、プラグインがそのハードウェアコントロールを選択したパラメーターに自動的にマッピングします。他の DAW では別の方法でプラグインやバーチャルインストゥルメントの MIDI マッピングを行えます。詳細はお使いの DAW のマニュアルを参照してください。

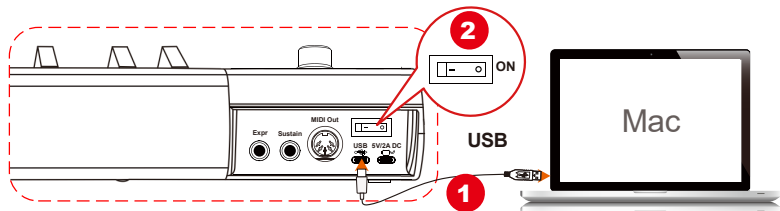
プラグインやバーチャルインストゥルメントをコントロールすることで、ライブパフォーマンスでもスタジオセッションでも、リアルタイムで表情豊かな制御とカスタマイズが可能になります。ワークフローの向上につながると考えられる場合は、ぜひ試してみる価値があります。

ただし、これらのメリットがある一方で、いくつかの制限が生じる場合があります。一部のプラグインは非対応であったり、GUI 上の特定のコントロールが機能しなかったりすることがあります。また、コントロールを操作した際の「なめらかさ」や「直感的さ」といった動作感が期待に沿わない場合もあります。

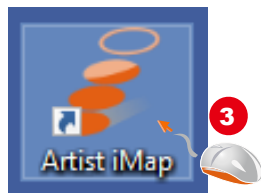
それでも、LA2A や 1176 形式のコンプレッサープラグインのように、コントロール数の少ないプラグインを繰り返し使用する場合、そのシンプルな GUI は物理コントローラーでの操作に非常に適しています。

ファームウェアアップグレード

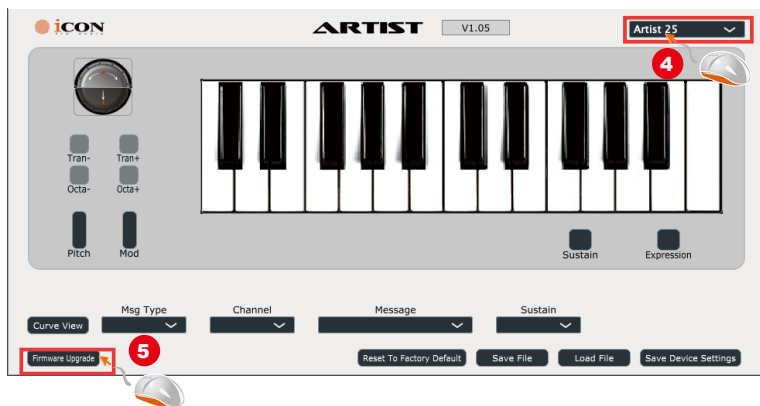
Artist シリーズ ファームウェアアップロード手順



1. 機器をコンピューターに接続してください。
2. Artist の電源を入れてください。

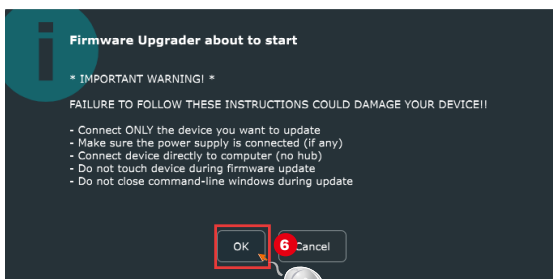


3. Artist iMAP がダウンロードおよびインストールされていることを確認してください。

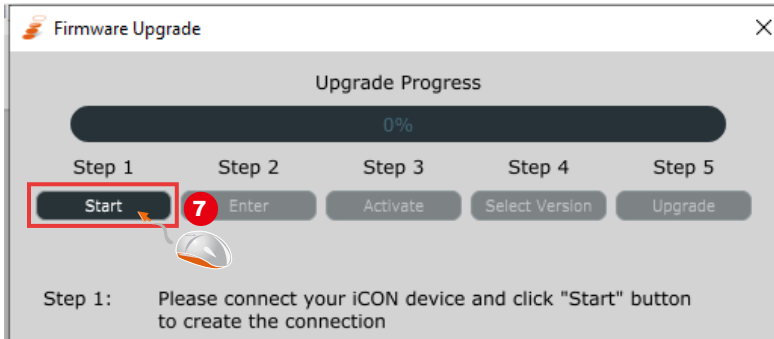


4. ドロップダウンメニューから正しい機器が選択されていることを確認してください。

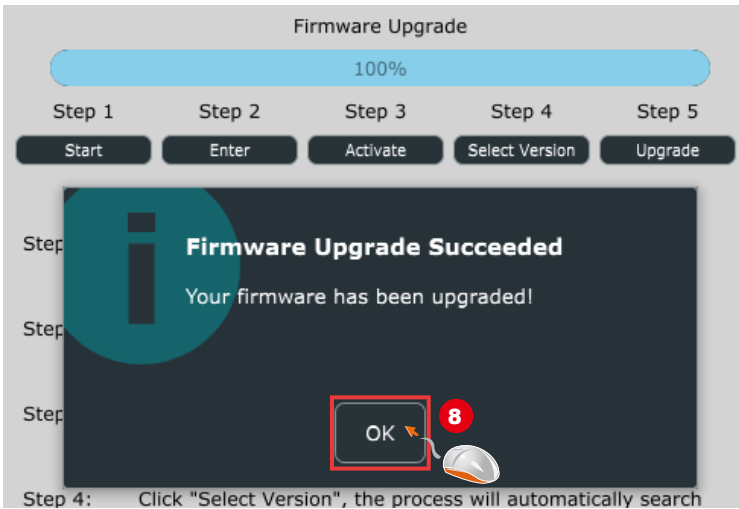
5. 「ファームウェアアップグレード」をクリックしてください。



6. 続行する前に、すべての注意事項を読み、内容を理解してください。「OK」をクリックしてください。



7. 「スタート」を押してください。

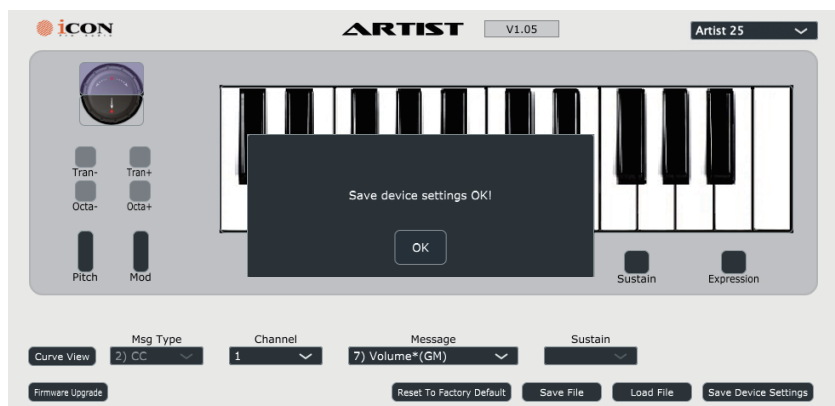


8. そのまましばらく処理が完了するまでお待ちください。「OK」をクリックして終了してください。

工場出荷時設定にリセット

Artist iMAP の設定を工場出荷時の既定値に戻すには、「工場出荷時設定にリセット」をクリックしてください。操作完了を知らせるポップアップメッセージは表示されませんが、キーボードが工場設定にリセットされたことが確認できます。

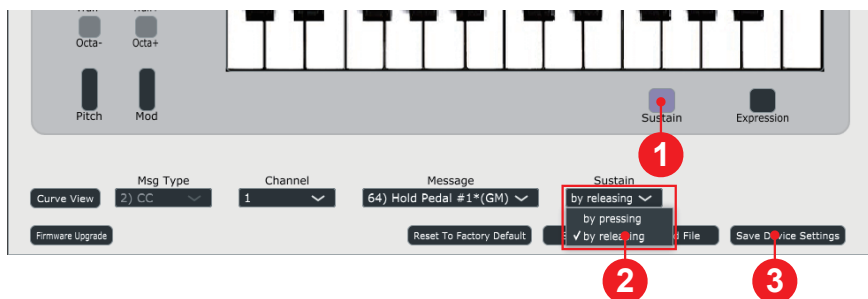
Artist キーボード本体の設定を工場出荷時に戻すには、キーボードが接続されていることを確認し、「工場出荷時設定にリセット」をクリックした後、「デバイス設定を保存」を選択してください。処理が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



概要 – リバースサスティンペダル接続端子の極性

サスティンペダルの極性を反転させるとは、ペダルを踏むのではなく離れたときにサスティン（音を伸ばす）がかかるようにすることです。

一部のサスティンペダルは、ハードウェア側で極性を反転できます（通常、ペダル底面のスイッチで切り替えます）。この機能がなく、同様の動作をさせたい場合は、サスティンペダルをコンピューターおよび iMAP に接続してください。その後、iMAP 上で「Sustain」をクリックし、ドロップダウンメニューから「離れたとき」を選択し、「デバイス設定を保存」を押してキーボードにデータを送信してください。これで接続端子の極性が反転します。



仕様

接続端子：

USB	USB-C
サスティン&エクスプレッション	2x1/4" TS connectors
MIDI 入出力	5-pin DIN connector

電源供給	5V/2A DC
消費電流	100mA or less

重量：

Artist 25	1.61kg	3.55(lb)
Artist 37	2.15kg	4.74(lb)
Artist 49	2.63kg	5.8(lb)
Artist 61	3.26kg	7.19(lb)
Artist 88	4.45kg	9.81(lb)

外形寸法：

Artist 25	467(L)x189(W)x68(H)mm
	18.38"(L)x7.44"(W)x2.68"(H)
Artist 37	628(L)x189(W)x68(H)mm
	24.72"(L)x7.44"(W)x2.68"(H)
Artist 49	789(L)x189(W)x68(H)mm
	31.06"(L)x7.44"(W)x2.68"(H)
Artist 61	950(L)x189(W)x68(H)mm
	37.4"(L)x7.44"(W)x2.68"(H)
Artist 88	1349(L)x189(W)x68(H)mm
	53.11"(L)x7.44"(W)x2.68"(H)

トラブルシューティング

不具合	考えられる原因	対処方法
コンピューターが Artist を認識しない	USB 接続の緩み、または電力不足	USB ケーブルの両端がしっかり接続されているか確認してください。別の USB ポートまたはケーブルをお試してください。または、別売りの電源アダプターを接続してください。
鍵盤またはコントロールから MIDI データが送信されない	DAW またはソフトウェアが MIDI 入力を受信していない	ソフトウェア内で Artist が MIDI 入力デバイスとして選択されていることを確認してください。MIDI チャンネル設定とルーティングを確認してください。
iMAP が Artist を認識しない	iMAP 起動後にデバイスの電源を入れた	iMAP を閉じ、Artist が接続されていることを確認した上でソフトウェアを再度起動してください。
MIDI の割り当てが意図通りに動作しない	iMAP で CC 番号または MIDI チャンネルを誤って選択している	iMAP を開き、正しいコントロール割り当てを確認してください。使用する CC 番号とチャンネルが接続先ソフトウェアと一致しているか確認し、キーボードに設定を送信してください。
ファームウェア更新に失敗する、または本体が操作不能になる	更新が中断された、またはファームウェアモードへの移行方法が間違っている	USB ケーブルを再接続し、iMAP を再起動してください。ファームウェア更新モードに再度入り、処理を再試行してください。
鍵盤を弾いても音が出ない	インストゥルメントが読み込まれていない、または出力設定が誤っている	Artist シリーズ本体からは直接音は出ません。バーチャルインストゥルメントが読み込まれ、Artist からの MIDI を受信するように設定されていることを確認してください。
サスティンペダルまたはエクスプレッションペダルが反応しない	ペダルが完全に差し込まれていない、極性が間違っている、または電源投入後に接続した	本体の電源を入れる前にペダルを接続してください。DAW または iMAP 内でペダル機能が正しく割り当てられているか確認してください。

問題が解決しない場合は、テクニカルサポートチームまでサポートチケットを送信してください。スタッフが喜んで対応いたします。サポートこそが私たちの使命です。

54 詳しくは次のページをご覧ください。

サービス

Artist キーボードの修理・メンテナンスが必要な場合は、以下の手順に従ってください。

<http://support.iconproaudio.com> のオンラインヘルプセンターにアクセスし、以下の情報・リソース・ダウンロードファイルをご確認ください。

1. FAQ (よくある質問)
2. ダウンロード
3. 製品登録
4. ビデオチュートリアル

これらのページで多くの問題の解決策が見つかります。解決策が見つからない場合は、以下のリンクからオンラインヘルプセンターでサポートチケットを作成してください。テクニカルサポートチームが速やかに対応いたします。

<https://support.iconproaudio.com> にアクセスし、ログイン後にチケットを送信してください。問い合わせチケットを送信後、サポートチームが ICON Pro Audio 機器の問題を速やかに解決するための対応を行います。

不良品を修理に送付する場合の手順：

1. 問題が操作ミスまたは外部システム機器に起因するものではないことを確認してください。
2. 製品を、エンドカードや外箱を含むオリジナルパッケージに梱包してください。これは非常に重要な点です。梱包材を紛失した場合は、製品を適切に梱包するようにしてください。ファクトリー仕様以外の梱包によって発生した損傷について、ICON は一切責任を負いません。
3. 製品を ICON テクニカルサポートセンターまたは地域の返品認定窓口に発送してください。以下のリンクから当社のサービスセンターおよびディストリビューターのサービス拠点をご確認ください。

アメリカ合衆国在住の場合：

<https://support.iconproaudio.com> のヘルプセンターにアクセスし、テクニカルサポートチームにチケットを送信してください。

ヨーロッパ在住の場合：

サポートチームにメールで問い合わせ、返信を待った上で製品を以下の住所に発送してください。

Sound Service GmbH
European Headquarters
Moriz-Seeler-Straße3 D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: service@sound-service.eu

香港在住の場合：

サポートチームにメールで問い合わせ、返信を待った上で製品を以下の住所に発送してください。

アジア拠点：

ASIA OFFICE:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.
Tel: (852) 2398 2286
Fax: (852) 2789 3947
Email: info.asia@icon-global.com

アップデートに関する詳細情報は、当社ウェブサイトをご覧ください：www.iconproaudio.com



天猫官方旗舰店



天猫店iconproaudio旗舰店

抖音号



抖音iCON艾肯

哔哩哔哩



B站iCONProAudio

微信公众号



微信号iCON-PRO

官方售后00



4006311312.114.qq.com

中国地区用户

Twitter



www.twitter.com/iconproaudio

Instagram



www.instagram.com/iconproaudio

Facebook



www.facebook.com/iconproaudio

Youtube



www.youtube.com/iconproaudio

Website



www.iconproaudio.com

Support



support.iconproaudio.com

Dashboard



iconproaudio.com/dashboard/

www.iconproaudio.com